

飲み物容器に関する 不便さ調査

視覚障害者アンケート調査報告書

1995年 4月

E & Cプロジェクト
パッケージ識別班

目 次

調査の概要	1
回答者のプロフィール	2
I. 【飲み物容器についての不便さ】	
中身の区別がつかないために生ずる不便さ、困った事 (Q4)	6
あなたが、もっとも不便に感じる容器は？ (Q1)	7
もっとも不便に感じる理由は？ (Q2)	7
容器を、識別しにくく不便な順に並び変えてください (Q3)	9
II. 【紙パック容器についての不便さ】	
普段よく購入する紙パック飲料は？ (Q5)	10
紙パック飲料の中で、何と何を区別したいか (Q6-1)	10
牛乳を特に区別したい理由 (Q6-2)	11
使用頻度の高い紙パック容器の容量は？ (Q7)	12
Q 7 の選択理由 (Q8)	
・100ml～300mlの使用頻度の高い理由 (Q8-1)	13
・500mlの使用頻度の高い理由 (Q8-2)	13
・1000mlの使用頻度の高い理由 (Q8-3)	14
紙パック飲料に不便さを感じる時は？ (Q9)	15
Q 9 の選択理由 (Q10)	
・使用時に不便さを感じる理由 (Q10-1)	15
・購入時に不便さを感じる理由 (Q10-2)	16

Ⅲ.【紙パック容器の表示項目について】

商品購入時に必要な項目、注意している項目 (Q11)	17
商品収納時に必要な項目、注意している項目 (Q12)	17
商品使用時に必要な項目、注意している項目 (Q13)	18
今後、表示してほしい項目 (Q14)	19

Ⅳ.【その他】

紙パック容器の表示がわからないこと以外の不便な点 (Q15)	20
紙パック容器の識別に使っている部分 (Q17)	21
結果のまとめと考察	22
自由回答の生データ	24
参考資料	
・調査シート	42
・視覚障害者の見え方の程度	45

調査の概要

1) 背景

1993年 10月にE&Cプロジェクトが行なった、「朝起きてから夜寝るまでの不便さ調査」では、家の中の生活で「同じような外形の識別」に最も不便さを感じ、具体的には食品に関するものが多くあげられていました。そこでパッケージ識別班では、食品の中でも飲み物に焦点を絞り「飲み物容器に関する不便さ調査」を行ないました。

2) 調査目的

飲み物容器に関する具体的な不便さを把握し、容器に対する識別のニーズを把握することを目的とします。

3) 調査内容

飲み物容器全体についての不便さをまず聞き、次に紙パック容器に絞り、不便さ、表示項目、識別方法について調査を行ないました。

4) 調査対象：視覚障害者（関東近郊の視覚障害者及び、福祉施設入所者）

5) 調査方法：調査票による郵送配布、郵送回収

6) 調査期間（調査票発送から、回収まで）：平成6年10月22日～12月27日

7) 調査回答者数

調査依頼数 96人

回答者総数 54人（点字回答者 21人、墨字回答者 33人）

（回答率56.3%）

8) 自由回答のまとめ方について

自由回答の集計に際しては、表現は異なっても同じ意味である回答は一つにまとめ、それらの上位概念にあたる言葉をつけて集計しました。

9) 調査設計・分析：E&Cプロジェクト パッケージ識別班

*Q16については、回答数が3件のため特に分析は行なわず、回答のみを巻末に記載した。

回答者のプロフィール

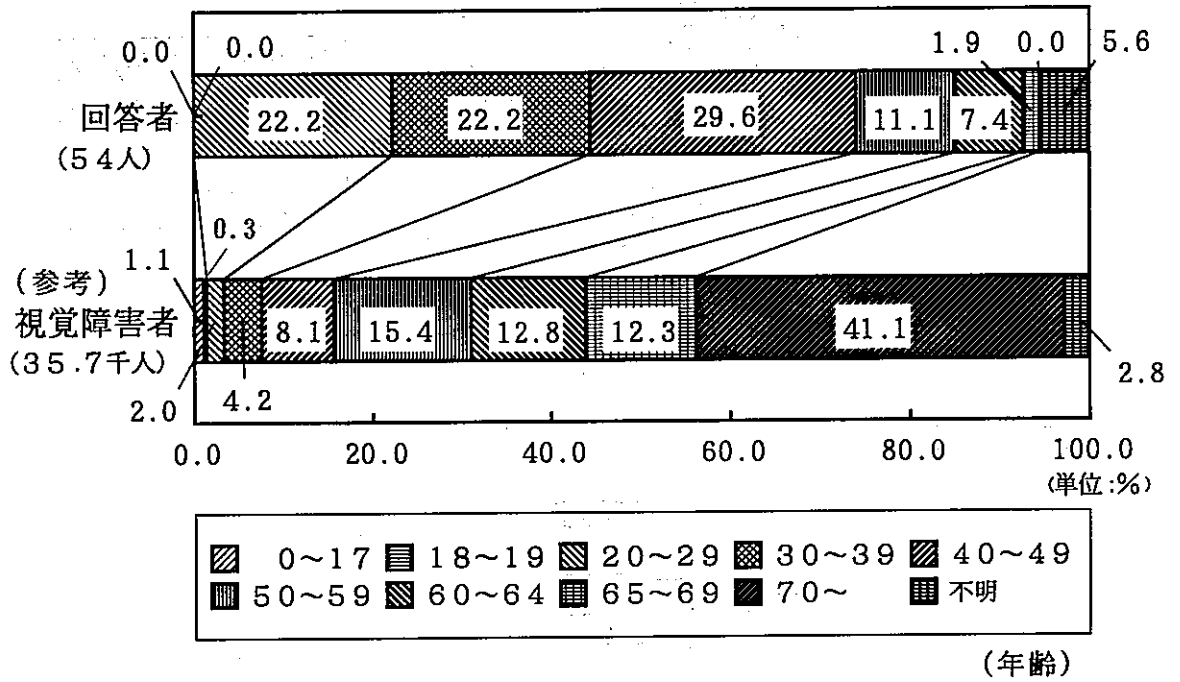
平成3年度11月に厚生省が行なった身体障害児・者の実態調査によると、次項以下のとおり、視覚障害者の男女比では女性が男性を3%ほど上まわり、年齢階級別状況では、70歳代が最も多くて41.1%を占め、年齢階級が低くなるにしたがって、その構成比の減少がみられます。また、障害程度等級では、1, 2級の重度の人が57.5%を占めています。一方、点字を読み書きできる人は、1, 2級者の20万人のうち4万人、すなわち5人に1人と言われています。(3級以下の点字使用者は極めて少ない)

ところが、今回のわれわれの調査では、回答者の年齢階級別の分布状況、障害程度等級、点字の読み書きの可否の割合に上記データとの顕著な違いが見られました。年齢階級別の分布状況では40歳代が多く29.6%、そして30歳代、20歳代とつづいています。また、障害程度等級では、1, 2級者が87.1%、さらに点字を読める人が79.7%と極めて高い率を示しています。

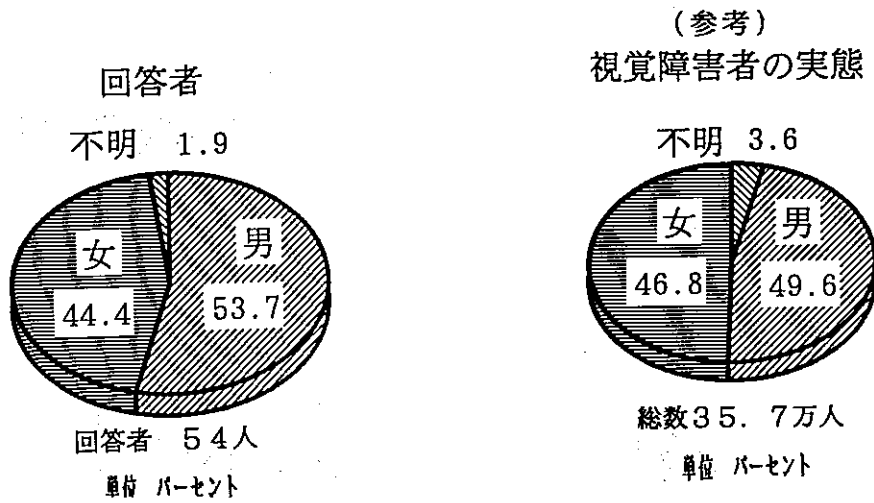
つまり、点字を読むことができる、触覚の感覚にすぐれた、50歳以下の方が回答の中心となっているということです。60歳以上が約66%を占める視覚障害者の実態と違いのあることを、アンケートの分析を読まれるときには忘れないでいただきたいと思います。

年齢 (Q19)

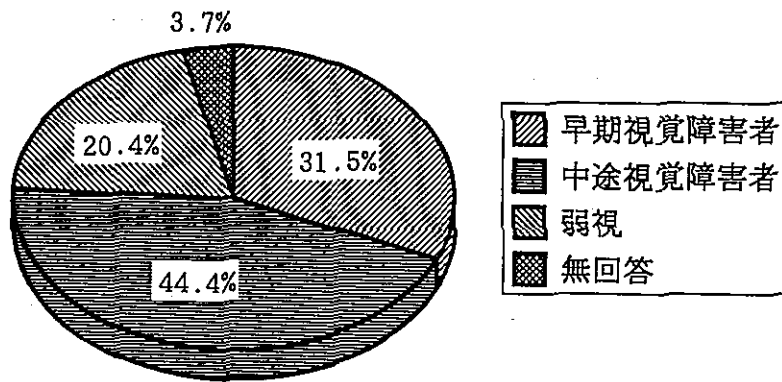
年齢階級別の分布状況



性別 (Q20)

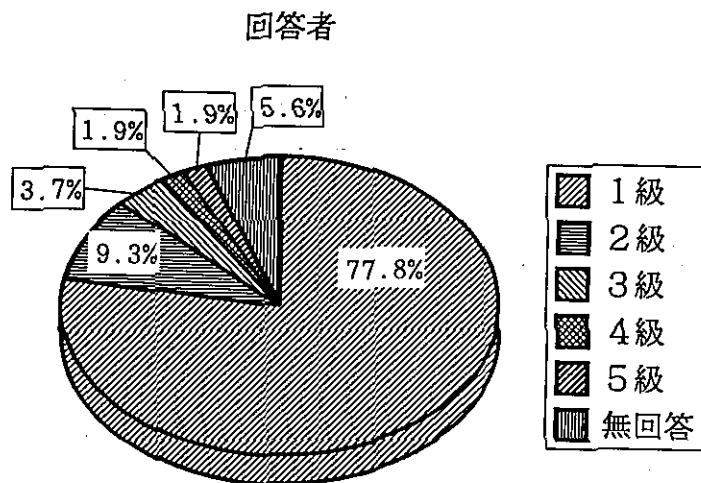


・視力の程度 (Q22)



対象者 54人

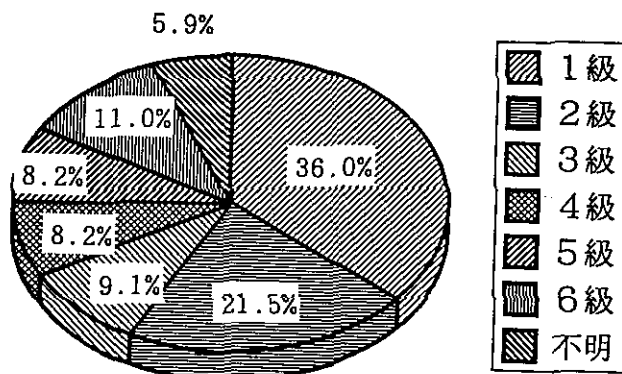
・障害程度等級 (Q23)



対象者 54人

(等級の詳細については、
巻末資料参照)

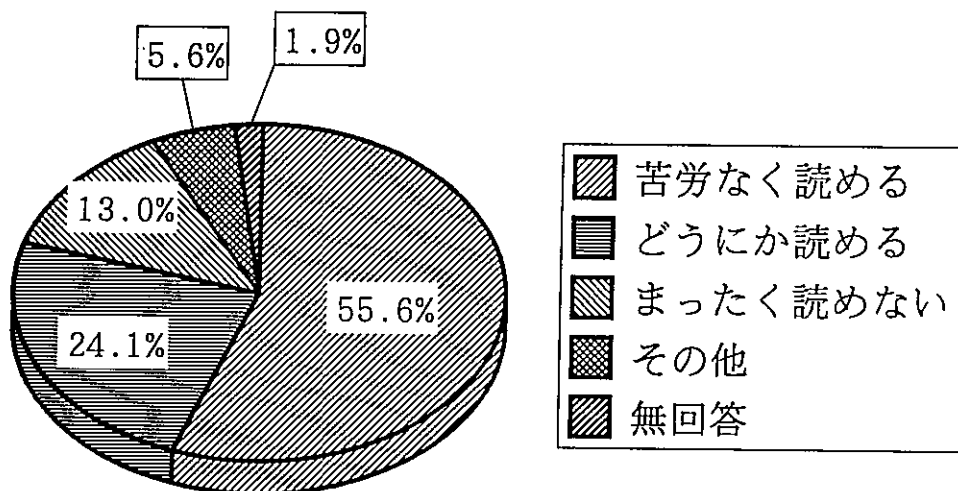
(参考) 視覚障害者



総数35.3千人
(0~18才を含まず)

(等級の詳細については、
巻末資料参照)

・点字を読むことはできますか？ (Q24)

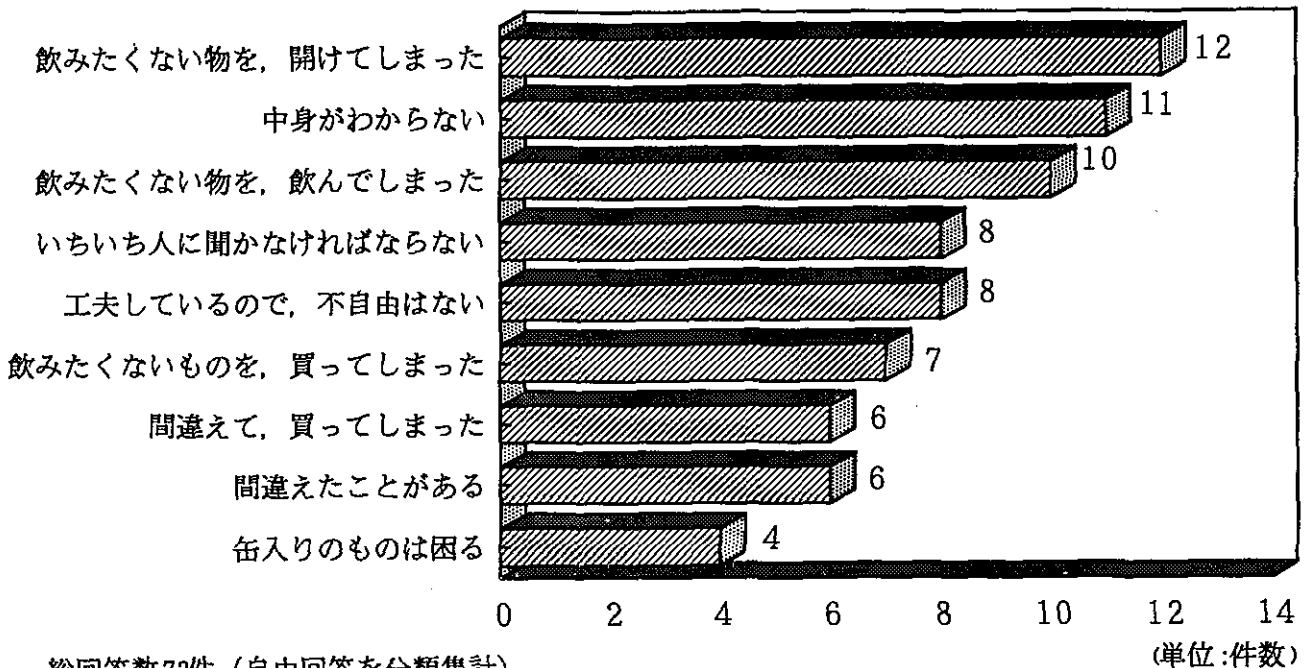


対象者 54人

飲み物容器についての不便さ

中身の区別がつかないために生ずる不便さ、困った事 (Q4)

牛乳、ジュースなどの飲み物の容器は、同じ形で中身が異なるので識別するのはむずかしいと思いますが、区別がつかなかったために、あなたにとってどんな不便さや、困った事がありますか？ (自) いくつでも



“ジュースを飲みたかったのに、ビールの缶を開けてしまった” “牛乳だと思って開けてみたら、オレンジジュースだった” など、本来飲みたくないものや不必要なものを誤って開けてしまったケースが最も多く、12件も寄せられました。

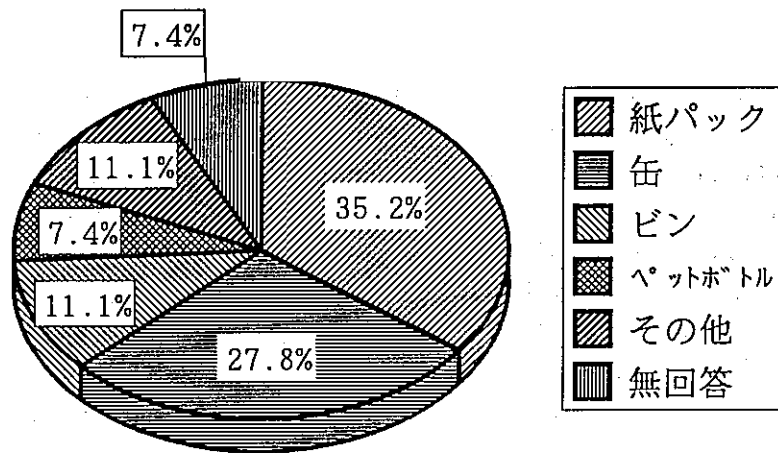
目の不自由な人にとっては、開封してにおいを嗅いでみるか、飲んで味を確かめてみるまで「中身がわからない (11件)」のです。これでは、温めるか冷やすかの判断もできませんし、子供に飲ませて良いものなのかどうかさえわかりません。スープの素や調味料など、そのまま飲むべきではないものであることは十分承知していても、ほかに確かめる手段がないばかりに「飲みたくもないものを仕方なく飲んでしまった」ケースも、10件を数えました。

まちがえないように買物をするのでしたら、ひと苦労です。「飲みたくないものを、買ってしまった (7件)」「まちがえて買ってしまった (6件)」正しく買うためには、「いちいち人に聞かなければならない (8件)」ということになってしまいます。

一方、牛乳なら紙パック、ジュースなら缶というように、あとの区別を考えて、いつも同じ形状の容器の中から商品を選ぶように心掛けている人もいます。買って来た後、区別できるように印をしたり、しまう場所を決めておくなど、「工夫しているので、不自由はない」というコメントも、8件ほど見られました。

あなたが、もっとも不便を感じる容器は？ (Q1)

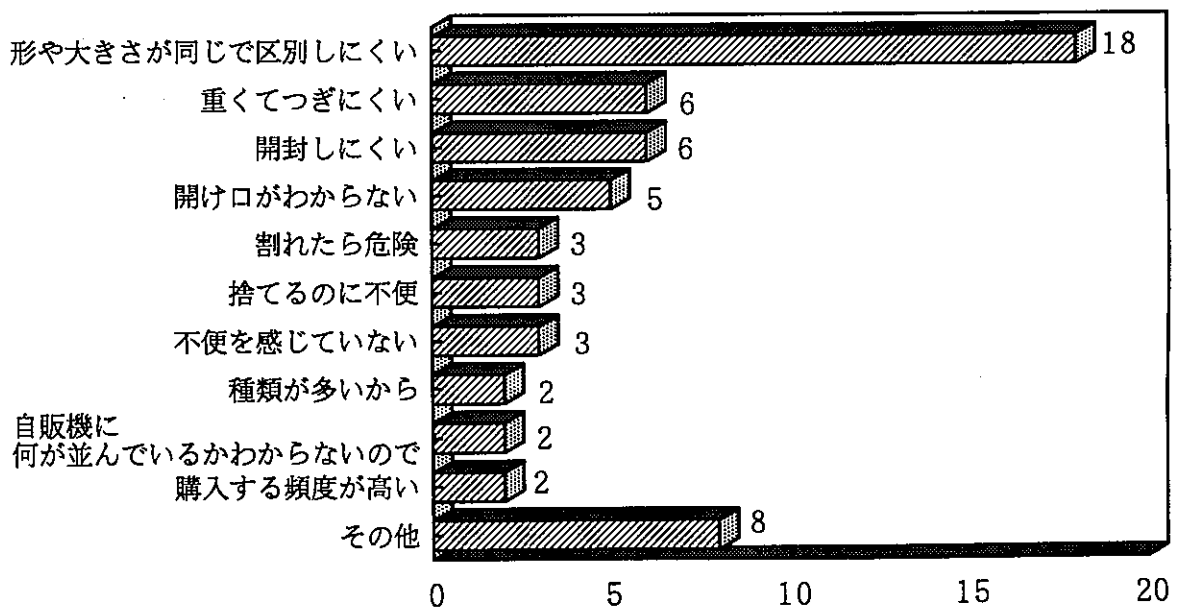
牛乳、ジュースなどの飲み物は、紙パック、缶、ビンなどの容器に入っています。
 あなたがもっとも不便を感じる容器は、下記の容器のなかのどれですか？ 一つだけ選んでください。ア. 紙パック イ. 缶 ウ. ペットボトル エ. ビン オ. その他



対象者 54人

不便を感じる理由は？ (Q2)

それはなぜですか？その理由を教えてください。(自)



総回答数58件 (自由回答を分類集計)
 回答者52人,無回答者2人

(単位:件数)

不便に感じる容器は紙パック、缶を選択した人が多く、二つを合わせると全体の63.0%を占めています。(Q1グラフ参照)

理由については、識別に関する不便さがもっとも多くなっています。「形状や大きさが同じで区別しにくい (18件)」という声の中でもっとも多く、具体的には“スーパーで陳列されている品物の区別ができない”“自分の冷蔵庫のなかでも区別ができないため、一つ一つ開けて、臭いを嗅ぐこともしばしばある”などがありました。

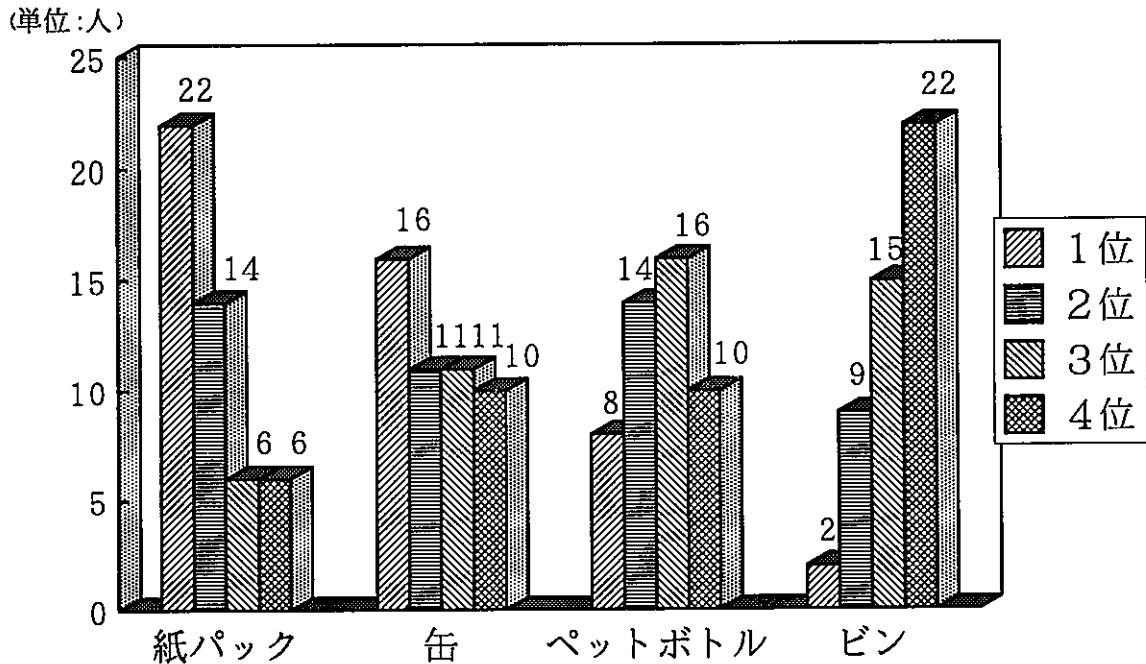
次に、使い勝手に関する不便さがあげられています。ペットボトルや紙パックは容量も1リットル以上のものを使うことが多く、重量も重くなります。視覚障害者にとって、一定量注ぐことは苦手な作業です。まして重ければなおさらです。「重くてつきにくい」が6件あり、その中には“どんなに傾いても一定量出るようにしてほしい”という声もありました。

また、紙パック特有の事ですが、「開封しにくい (6件)」、「開け口がわからない (5件)」という不便さもあげられています。“どちらを開けてよいかわからない”ために、開封がうまくできず、自分だけでなく“次に使う人も飲みにくい”ということになります。これは、目の不自由な人だけでなく健常者にとっても同じことが言えるのではないのでしょうか？ また、ビンについては、“割れたら後始末が大変、危険”という声もありました。

容器を、識別しにくく不便を感じる順に並びかえてください。(Q3)

次にあげる容器を、識別しにくく不便を感じる順に並びかえてください。

ア. 紙パック イ. 缶 ウ. ペットボトル エ. ビン



選択回答
回答者48人、無回答者6人

<グラフの読み方>

紙パック、缶、ペットボトル、ビンの4種類の容器を識別しにくい順番に1位～4位まで評価してもらいました。紙パックを例にあげると、識別しにくい順位を1位と選択した人が22人、2位と選択した人が14人となります。

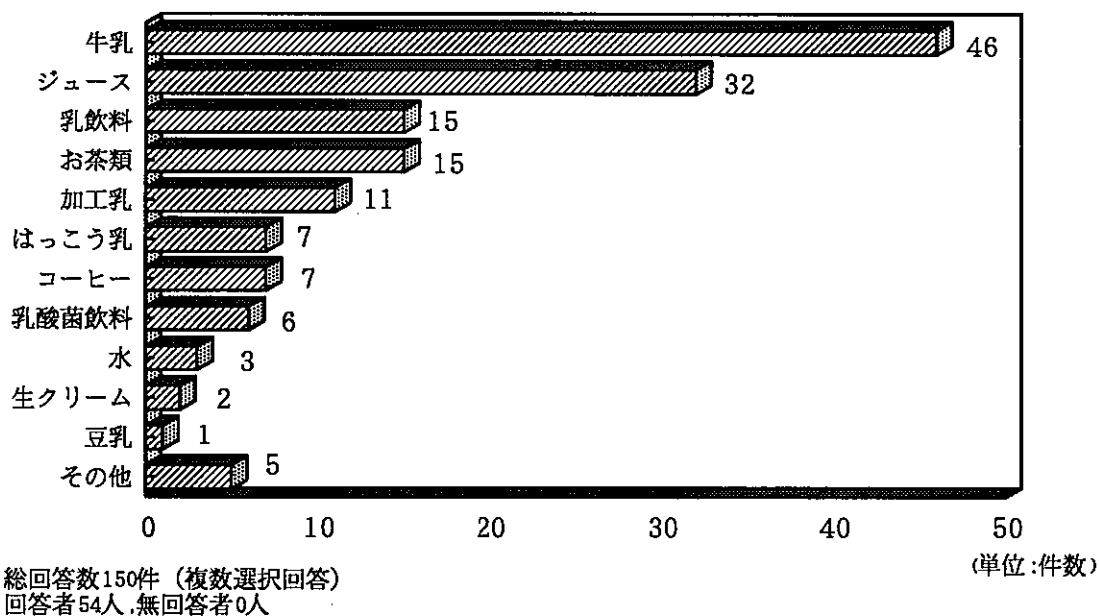
識別しにくい容器の中で、紙パックを1位、2位に選択した人がそれぞれ22人、14人と多く、3、4位と大きく離れています。缶については、1位を選択した人は16人と多くなっていますが、2、3、4位はほぼ同じとなっています。これは、紙パックはかなりの人が頻繁に使用しているために、不便さを強く感じているのに対し、缶は使用頻度の高い人と少ない人がおり、使用頻度の高い人が1位という評価をしたためと思われる。ビンについては、比較的形に特徴があるものが多いので順位を低くつける人が多かったと思われる。

紙パック容器についての不便さ

普段よく購入する紙パック飲料は？ (Q5)

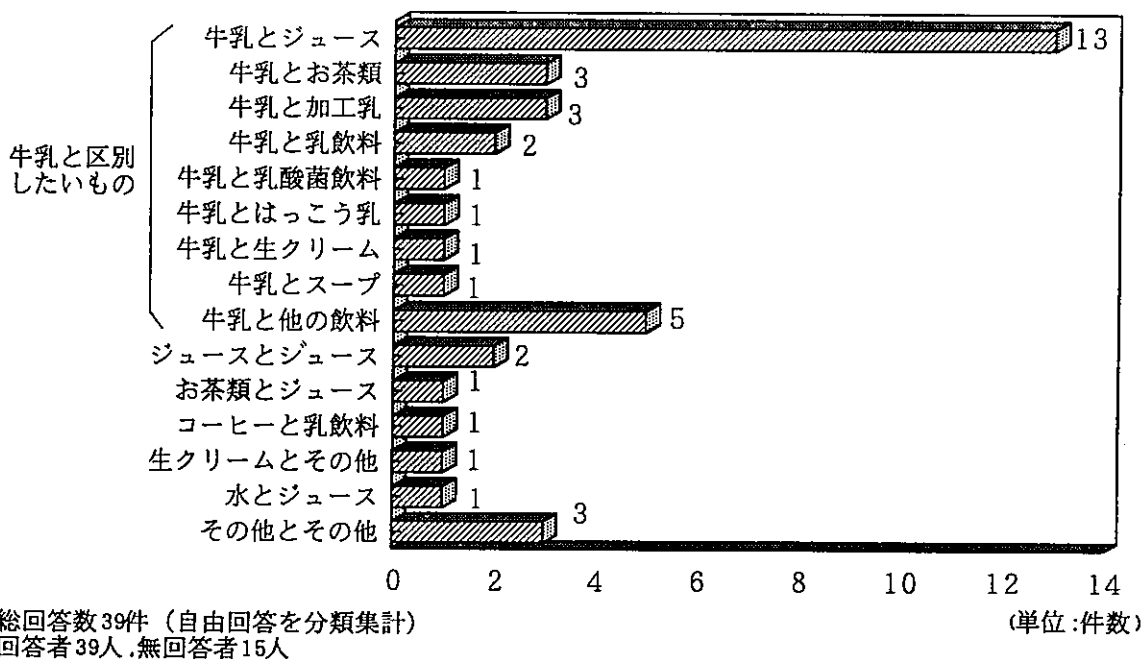
食品の容器には紙パック、ビン、ペットボトル、缶などがありますが、その中で紙パック飲料についてお聞きいたします。

あなたが普段よく購入される紙パック飲料はどのようなものですか？下記の中から選んで下さい。 上位3つまであげてください。(記号で)

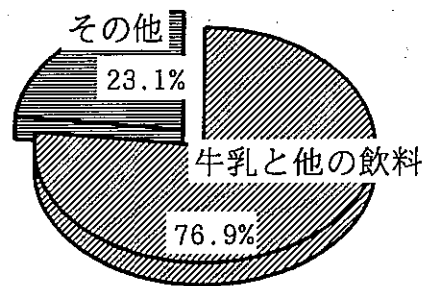


紙パック飲料の中で、何と何を特に区別したいか (Q6-1)

紙パック飲料の中で特に区別したいものがありますか？何と何を区別したいか教えてください。



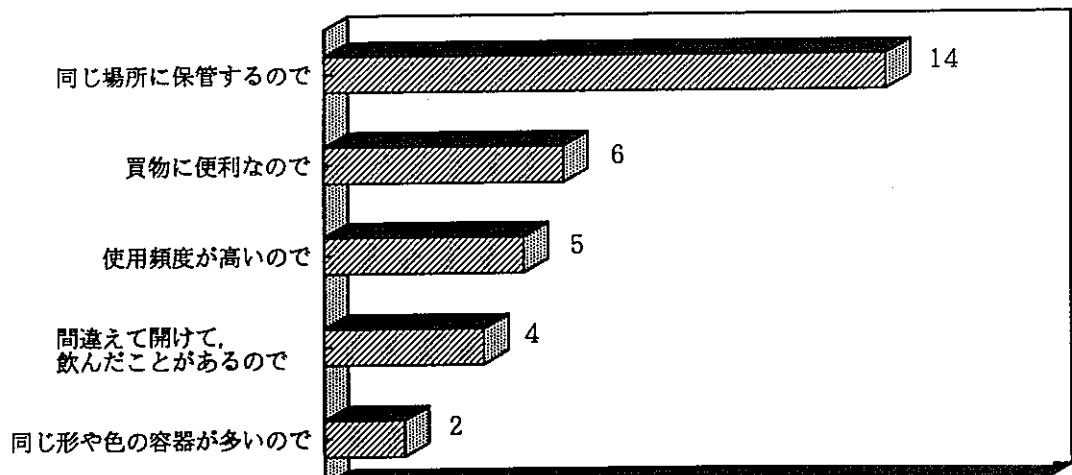
(Q6-1) のグラフを牛乳関係とそれ以外で分類すると



対象者 54人

牛乳を特に区別したい理由 (Q6-2)

また、その理由も教えてください。(自) いくつでも



総回答数31件 (自由回答を分類集計)
回答者27人、無回答者3人

(単位:件数)

アンケートでは紙パック容器の保管場所まで記載したものはあまりありませんが、牛乳を特に区別したい理由として多くの方が「同じ場所に保管するので」と答えていることから、ほとんどの人は冷蔵庫の中の同じ場所に保管していると推察されます。

特に牛乳は必需品(常備品)的要素が強いことや調理にも使用することから、他の飲料との識別への要望が強く「せめて牛乳だけは識別できるようにして欲しい」という記述も何人かの方からでした。また、「牛乳は下痢して飲めない」という人も1人いました。

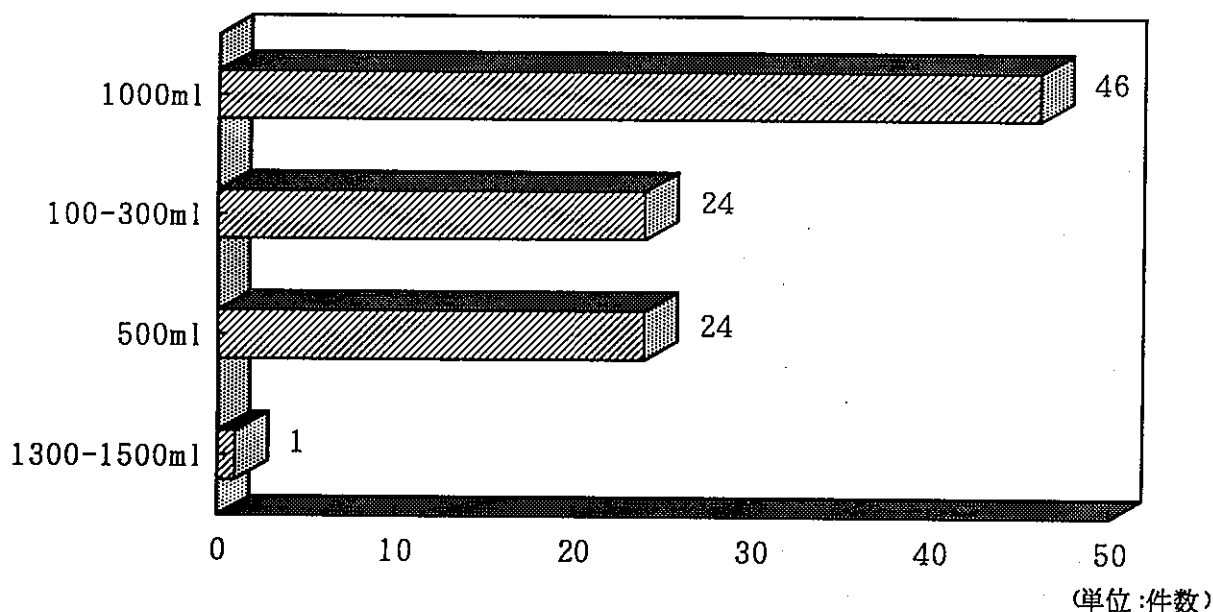
その他の意見

- ・牛乳類しか買わないが、数種類をまとめて買うことがあるので、牛乳と加工乳を区別できるようにして欲しい。
- ・生クリームを間違えて開けてしまうと処置に困るので、生クリームと飲み物を区別して欲しい。
- ・間違えて生クリームを飲んでしまうのはつらいので、牛乳類と生クリームを区別して欲しい。
- ・コーヒーとカフェオレはともに茶色に近い色なので間違えやすい。
- ・薄めなければ飲めないものとそのまま飲めるものを区別して欲しい。

使用頻度の高い紙パック容器の容量は？ (Q7)

あなたの使用頻度の高い紙パックの容器の大きさは下記のいずれですか。上位2つまであげてください。(記号で)

ア：100-300ml イ：500ml ウ：1000ml エ：1300-1500ml オ：その他



総回答数95件(複数選択回答)
回答者54人,無回答者0人

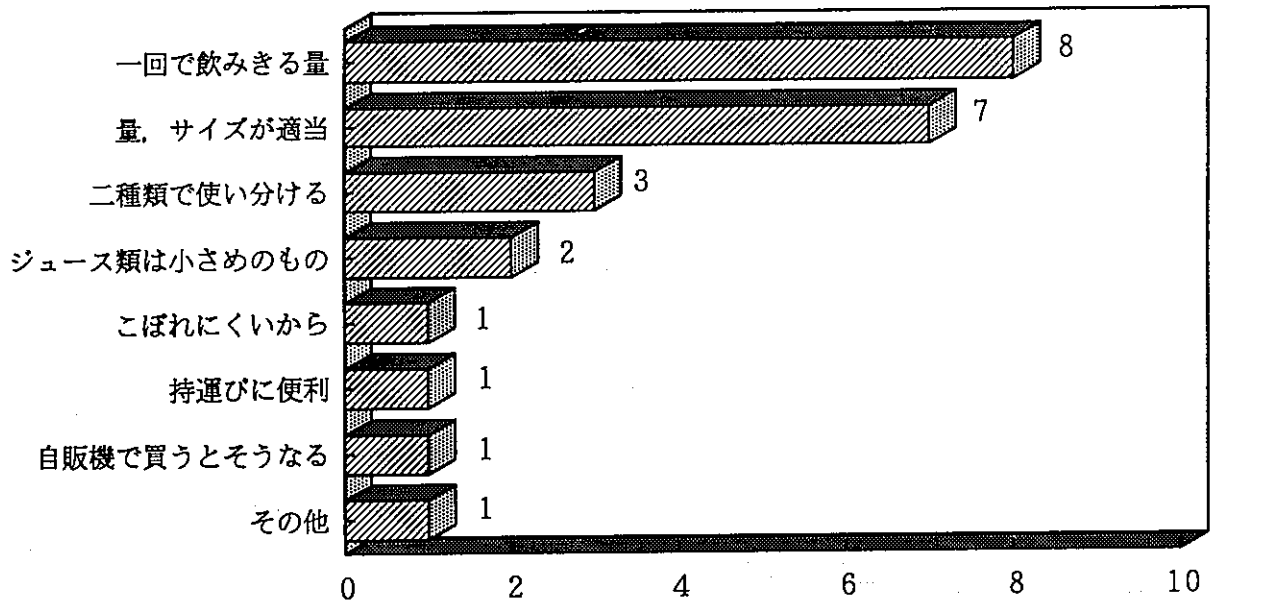
回答者54人中46人の方が、1000mlの紙容器の使用頻度が高いとしています。これは、1000ml紙容器として「牛乳」「ジュース類」「乳飲料」「お茶類」等かなりの品目数が販売されていること、および(Q5)の「普段よく購入する紙パック飲料」の結果からもわかります。

次に、54人中24人の方が、100-300mlと500mlを使用頻度の高い紙パック容器としてあげています。この使用目的については、(Q8)を参照して下さい。

Q7の選択理由 (Q8)

それはなぜですか？それぞれ理由を教えてください。(日)

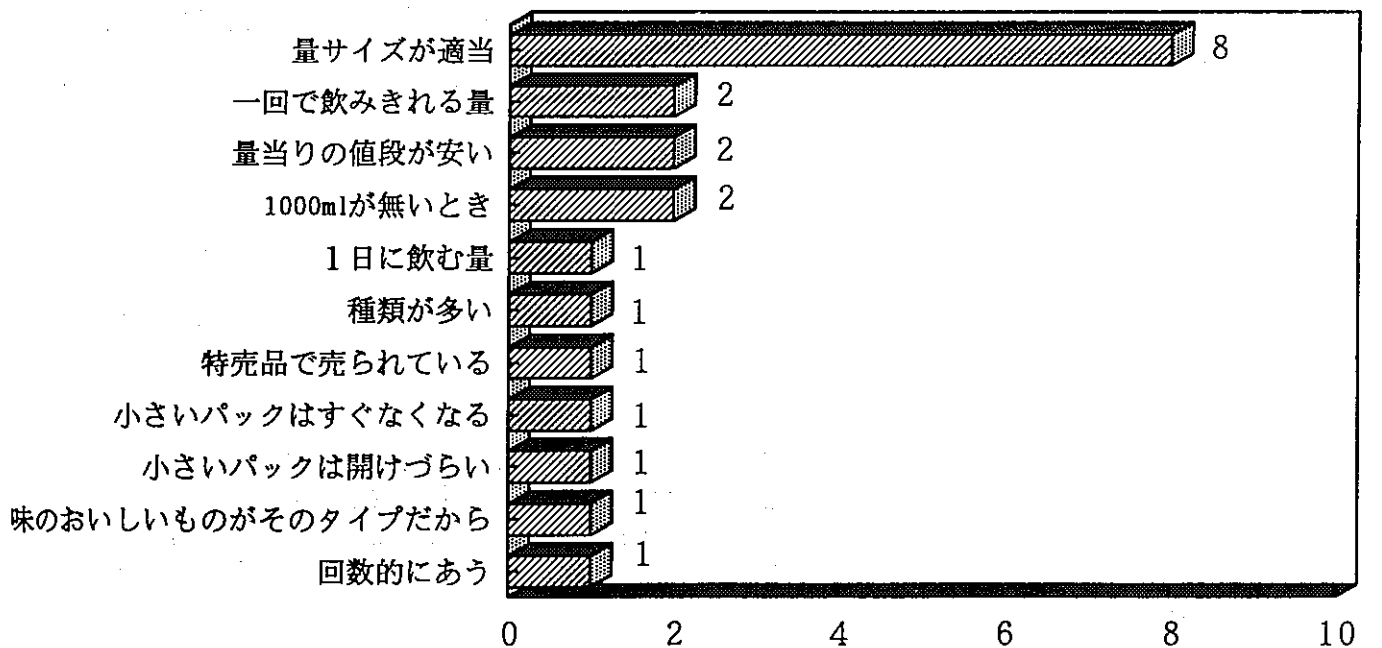
100-300mlの使用頻度の高い理由 (Q8-1)



総回答数24件 (自由回答を分類集計)
回答者23人,無回答者1人

(単位:件数)

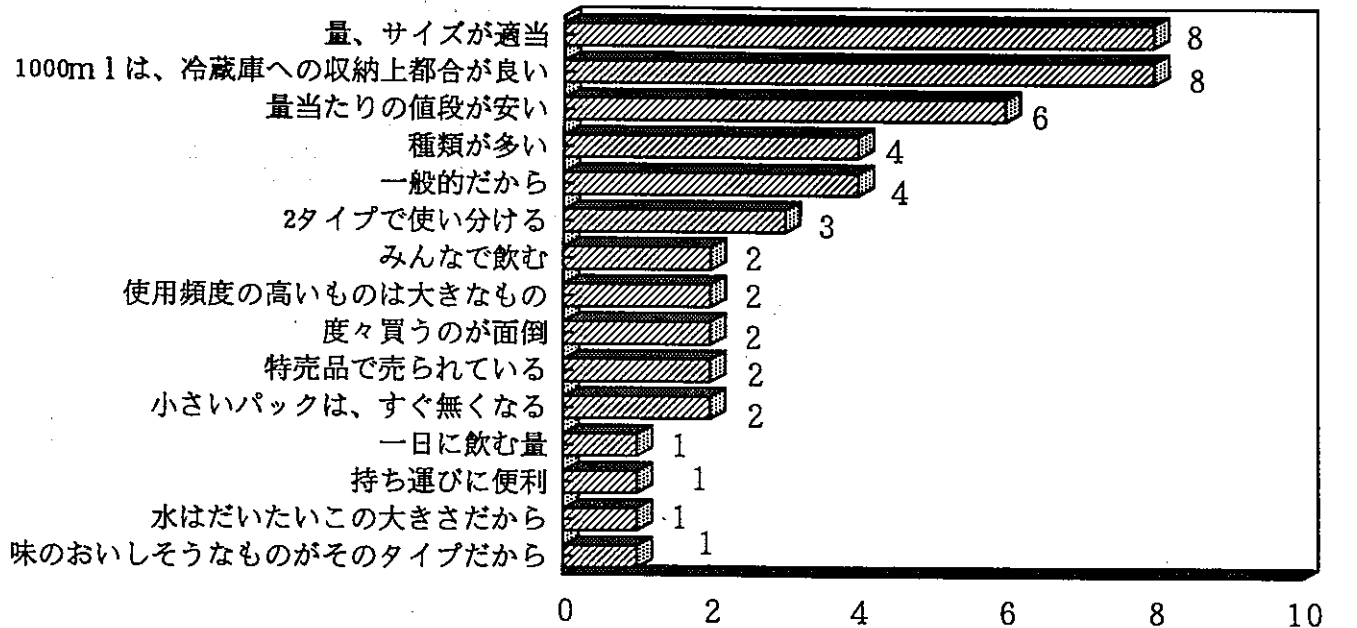
500mlの使用頻度の高い理由 (Q8-2)



総回答数21件 (自由回答を分類集計)
回答者20人,無回答者4人

(単位:件数)

1000mlの使用頻度の高い理由 (Q8-3)



総回答数47件 (自由回答を分類集計)
回答者41人、無回答者5人

(単位:件数)

・「100-300mlの使用頻度の高い理由」

最も多いのは「一回で飲みきる量」(8件)で、次いで「量、サイズが適当」(7件)となっています。これは、手軽に飲むということを目的としていることがわかります。

また、3件と少数ではありますが、「二種類で使い分ける」という理由は家庭での工夫の仕方という点で参考になります。

・「500mlの使用頻度の高い理由」

最も多いのは「量・サイズが適当」(8件)で、他の理由とはかけはなれています。これは、回答者の家族構成が主な要因と思われます。

次いで「一回で飲みきる量」「量当たりの値段が安い」「1000mlが無いとき」が各2件となっています。

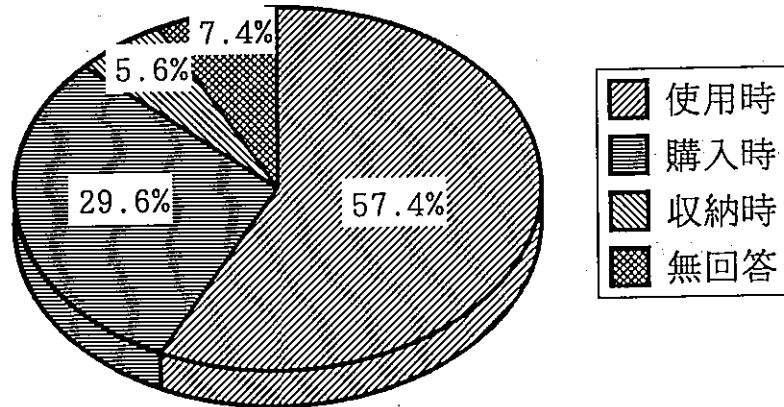
・「1000mlの使用頻度の高い理由」

最も多いのは、「冷蔵庫への収納上都合が良い」の8件となっています。これは、他の2サイズと違った理由として「収納」に関する理由として注目されます。

次いで「量、サイズが適当」「量当たりの値段が安い」の2点が6件、「種類が多い」「一般的だから」の2点が4件となっており、経済面・市場での普及状況からの理由が目立ちます。

紙パック飲料に不便さを感じる時は？ (Q9)

紙パック飲料に不便さを感じる時は、ア：購入時 イ：収納時 ウ：使用時のどの場面がもっとも多いですか。一つだけ、選んでください。(記号で)

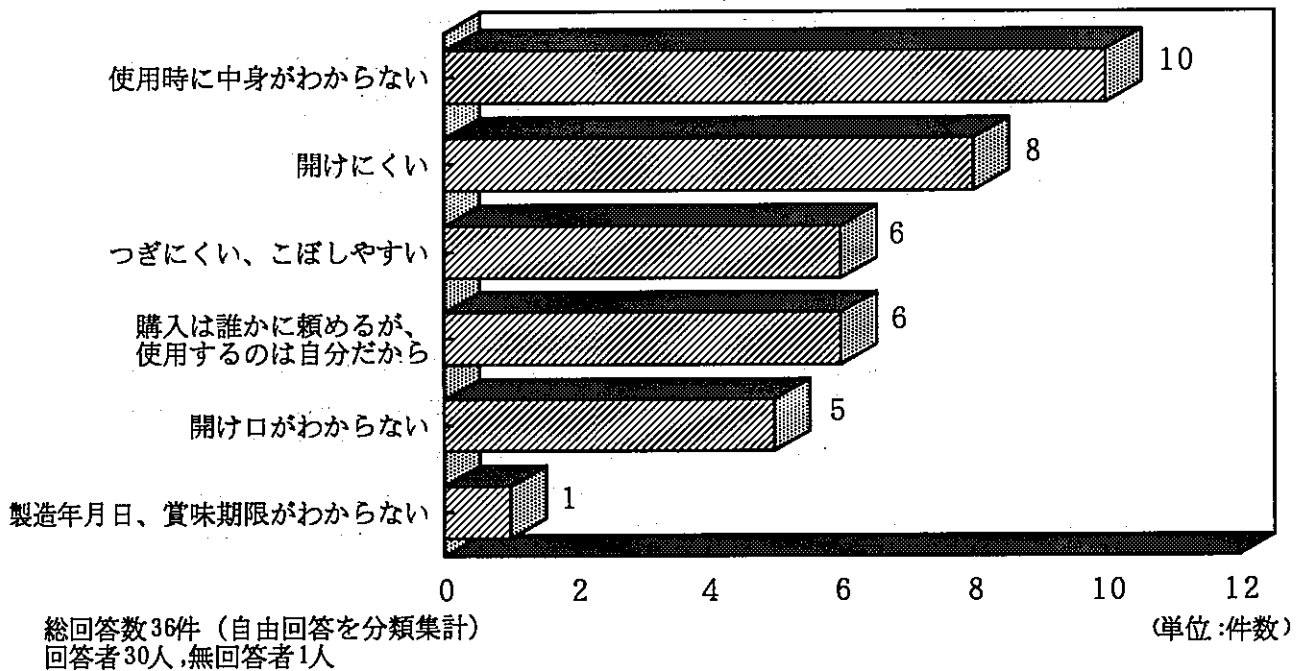


対象者 54人

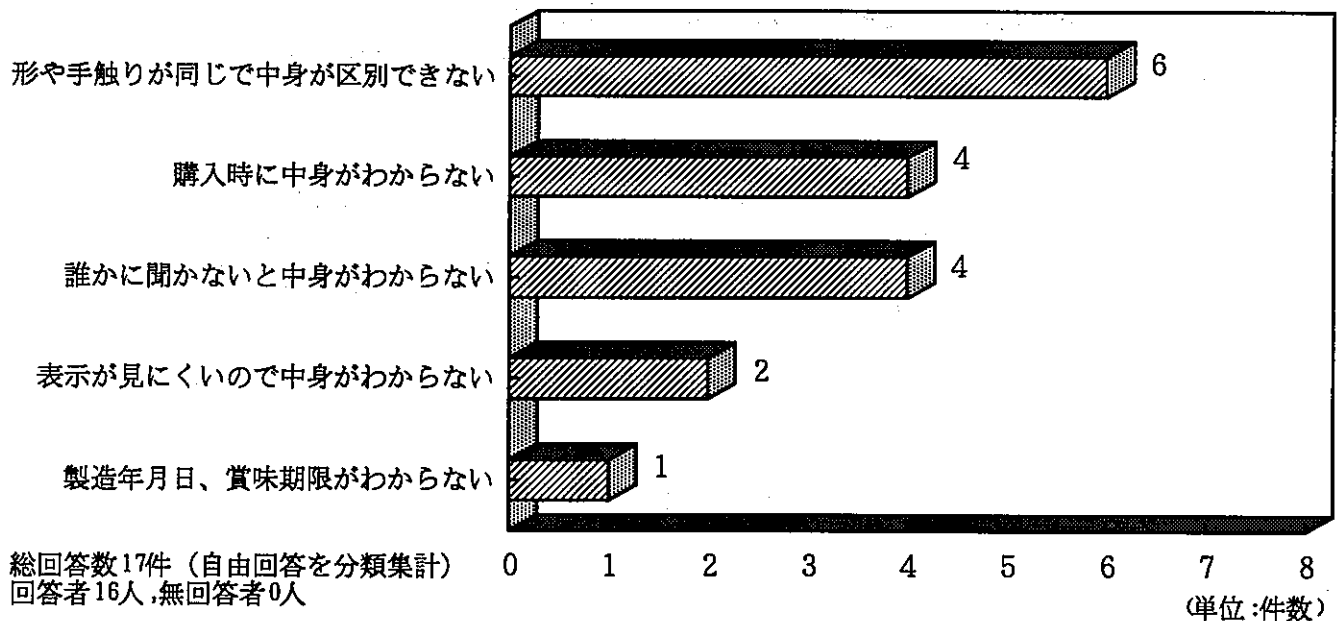
Q9の選択理由 (Q10)

それはなぜですか？その理由を教えてください。(自)

使用時に不便さを感じる理由 (Q10-1)



購入時に不便さを感じる理由 (Q10-2)



紙パック飲料に不便さを感じる時は、「使用時」が全体の57.4%と最も多く、次いで「購入時」の29.6%、「収納時」が5.6%となっています。

・「使用時に不便さを感じる理由」

「使用時に中身がわからない」(10件)が最も多く、使用時にも、複数の紙パック飲料の中身の区別ができなくなってしまい不便さを感じています。以下は、「開けにくい」(8件)、「つぎにくい、こぼしやすい」(6件)、「開け口がわからない」(5件)といった紙パック容器の機能面に関する理由が多く述べられております。「購入は誰かに頼めるが使用するのは自分だから」(6件)と述べている人もいますが、実際に、飲むという行為に伴う、「紙パックを開ける、注ぐ」といった動作は自分自身で行うことが多いため、紙パック飲料に不便さを感じる時として、「使用時」という回答が「購入時」「収納時」に比べ、最も多くなっていると思われます。

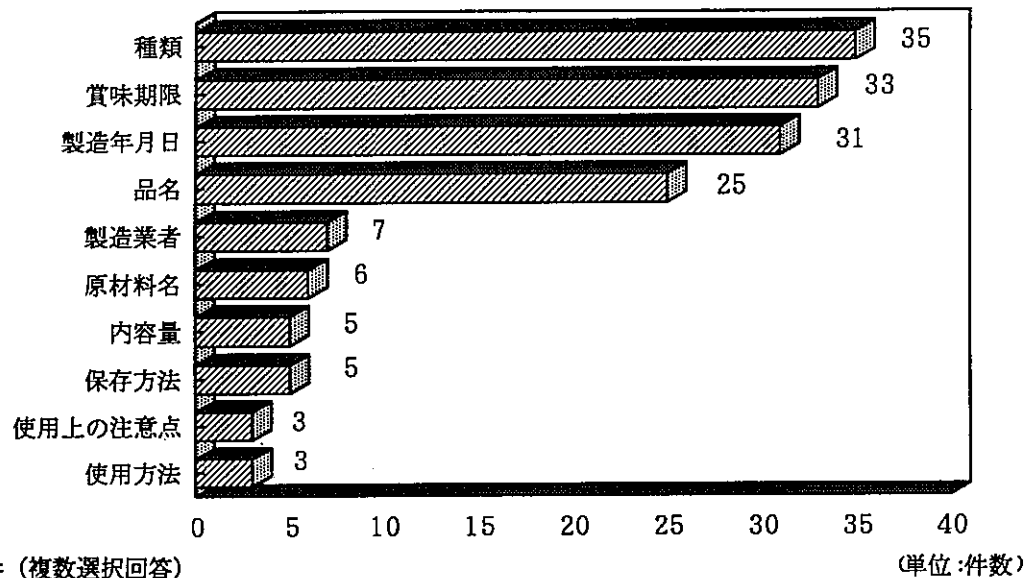
・「購入時に不便さを感じる理由」

「形や手触りが同じで中身が区別できない」(6件)が最も多く、以下も、「購入時に中身がわからない」(4件)、「誰かに聞かないと中身がわからない」(4件)と続いており、購入時には、まず紙パックの中身が何であるのかわからないことに不便さを感じております。また、「表示が見にくいので中身がわからない」(2件)という弱視の方の指摘もありました。

紙バック容器の表示項目について

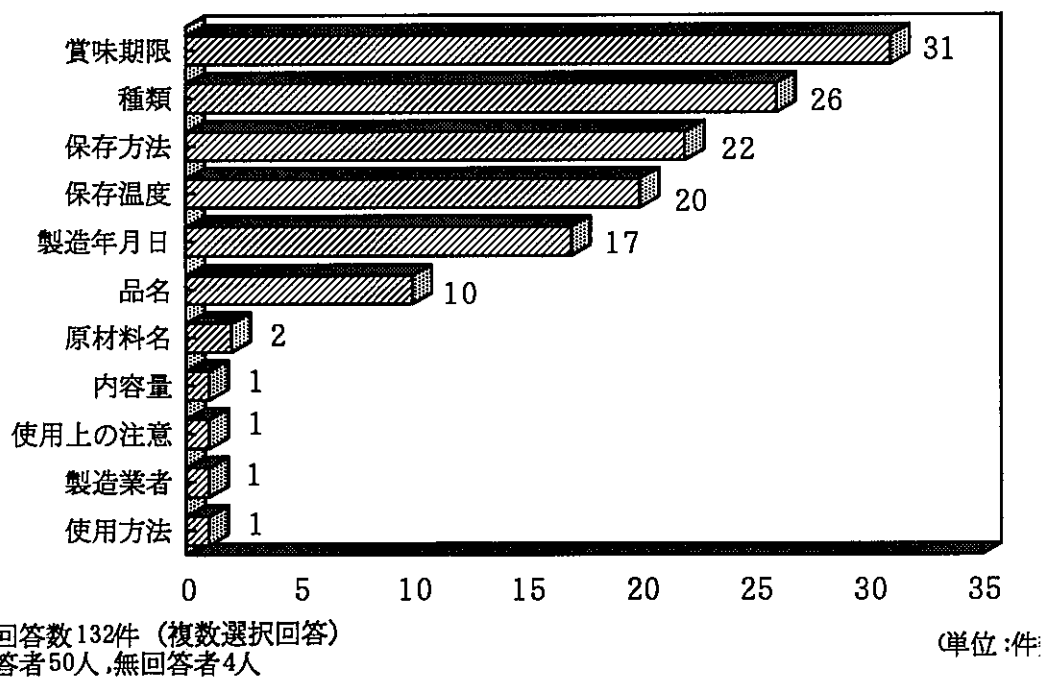
商品購入時に必要な項目、注意している項目 (Q11)

容器に書かれている項目のなかで、あなたが商品購入時に特に必要な項目、注意している項目は下記のどれですか？ 上位3つまであげてください。(記号で)



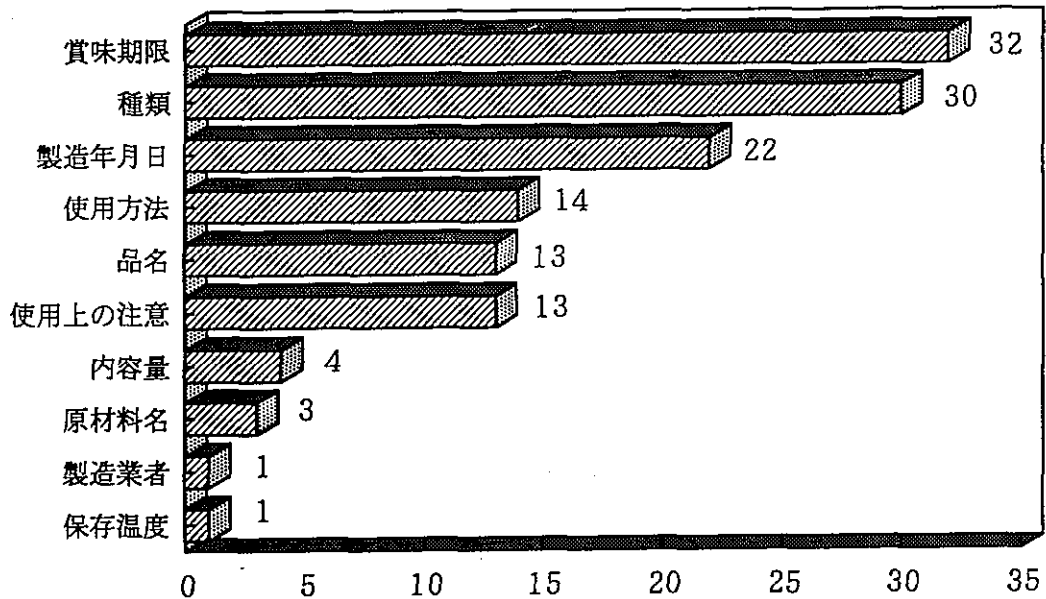
商品収納時に必要な項目、注意している項目 (Q12)

容器に書かれている項目のなかで、あなたが商品収納時に(冷蔵庫、棚など)、特に必要な項目、注意している項目は下記のどれですか？ 上位3つまであげてください。(記号で)



商品使用時に必要な項目，注意している項目 (Q13)

容器に書かれている項目のなかで、あなたが商品使用時に特に必要な項目、注意している項目は下記のどれですか？ 上位3つまであげてください。(記号で)



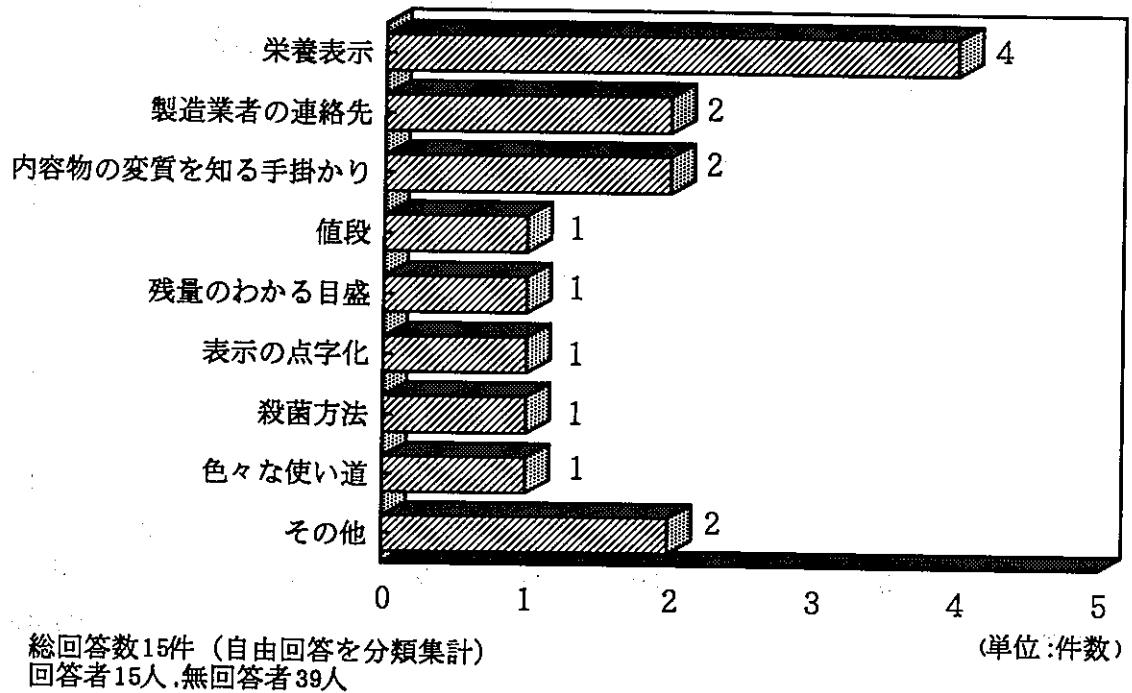
総回答数133件 (複数選択回答)
回答者49人,無回答者5人

(単位:件数)

以上のように購入時(Q11), 収納時(Q12), 使用时(Q13)ともに内容物の「種類」、「賞味期限」、「製造年月日」は上位にあげられており、「品物の中身」と「鮮度」に関する情報を入手したいことがわかります。

今後表示してほしい項目 (Q14)

現在表示されていない項目で、記入してほしい項目はありますか？(自)



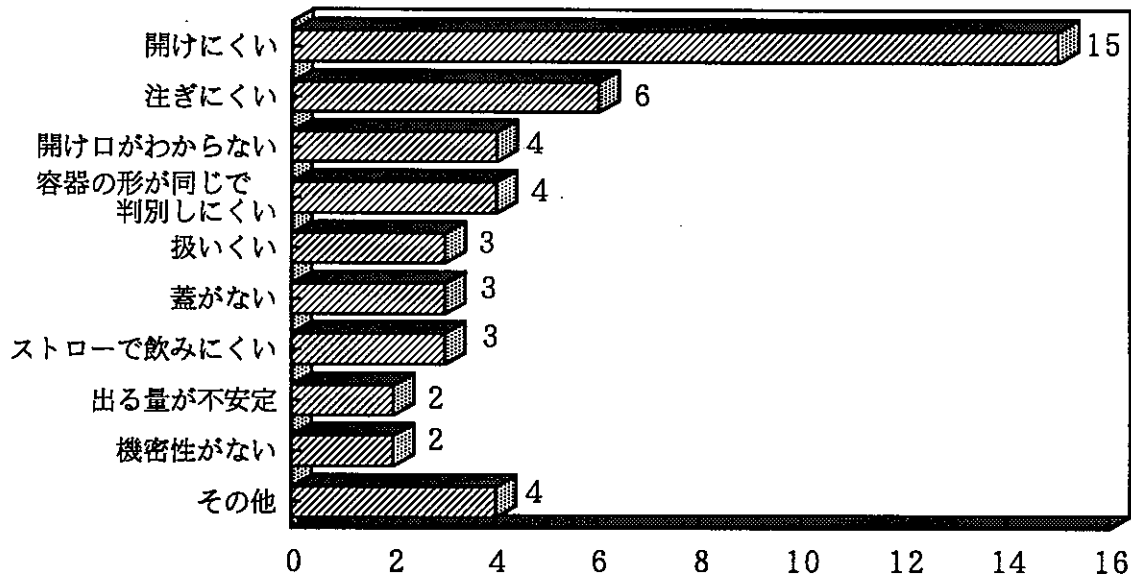
今後追加表示してもらいたい項目については15件の回答がありました。

特に、品質関連として「栄養表示」の希望が4件ありました。

その他

紙パック容器の表示がわからないこと以外の不便な点 (Q15)

紙パック容器について、表示がわからない事以外に不便な点があったら、あげてください。(自)



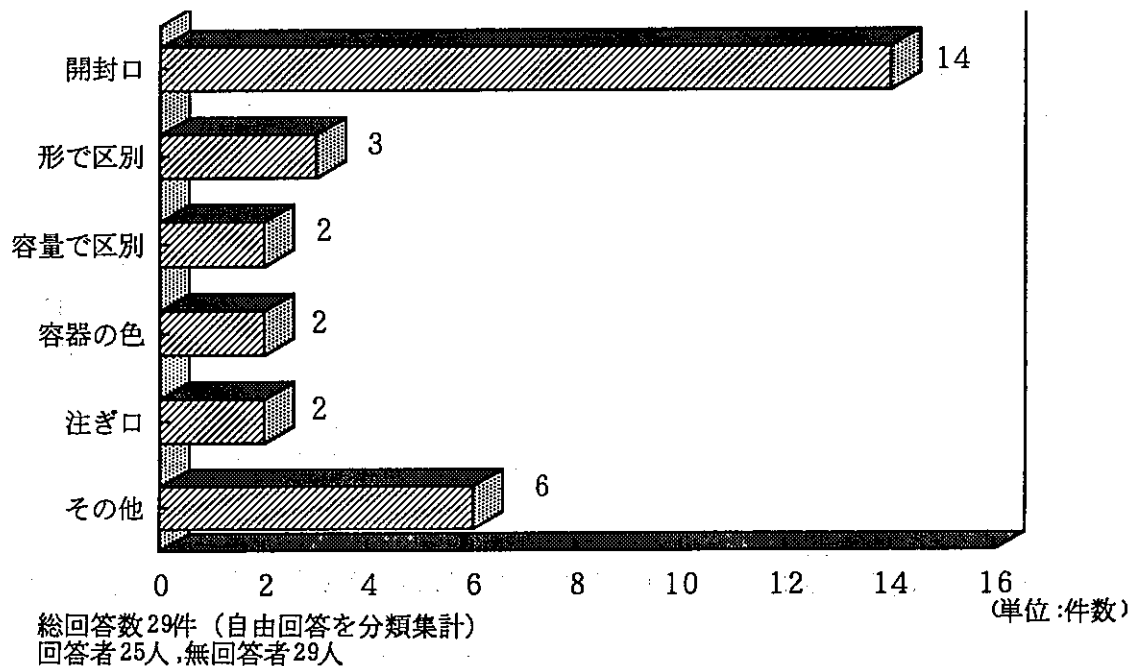
総回答数46件 (自由回答を分類集計)
回答者29人,無回答者25人

(単位:件数)

- “きれいに開かない” “はさみが必要なために開げにくい” という声が圧倒的に多くあげられています。
- Q10の上位と同様に「注ぎにくい」「開け口がわからない」事も不便さとして挙がってきています。
- 判別では「牛乳」と「ジュース類」をわかりやすく区別したいと思っています。
- “ふたがなく中身がこぼれやすい” “数回にわけて使う場合にふたがほしい”等、容器の扱いにくさ、機能性等を問題にしている意見もありました。
- その他では“容器から直接飲む時やコップに注ぐ時にこぼれる可能性がある” “冷蔵庫に横に入れられない、握りにくい”等がありました。

紙パック容器の識別に使っている部分 (Q17)

紙パック容器で、現在あなたが何かの識別に使っている部分がありましたら、教えてください。(自)



- ・ 開封口の識別には屋根型の所にある凹線が識別に最も多く使われています。また、容器の糊代(貼り合わせ部分)や屋根の上部の刻印で識別されている方もいます。
- ・ その他では自分でつけた輪ゴムの本数やストローの差し込み口のへこみ、容器表面の感触等があげられています。
- ・ 容器の色では白や青は牛乳、茶色はコーヒー等と識別しています。

結果のまとめと考察

I. 【飲み物容器についての不便さ】

飲み物の容器の不便さで、最も指摘されている点は、「識別がしにくい」ことで、問題なのは、視覚に障害を持った方に次のような不愉快な体験を味わせてしまうところにあります。

1. “牛乳だと思ったのにジュースだった” “ウーロン茶や調味用のお酒だった…”あるいは、“ビールだと思ったのに、炭酸入りのジュースやコーラだった…”など「その時必要なものまたは、飲みたかったもの」が飲めない。
2. アルコールや炭酸飲料など、「本来、自分が飲めないもの」を買ってしまったり開けてしまっても、捨てるに捨てられない。
3. スープの素や濃縮ジュース、調味料、そばつゆなど「そのまま飲んではまずいもの」を飲んでしまう。

いずれも、容器の形や大きさが同じで区別しにくいことが原因です。“間違えて困った” “しかたなくそれを飲んでしまった” “腹がたった” といった自由回答の言葉から回答者のせつない気持ちが伝わってきます。

容器の種類では、形や大きさが同じものが多い紙パックや缶に問題がありそうです。ペットボトルや瓶の方は、形にいくらか特徴があるし、使用頻度の点でそれほどではありません。

不便さを感じる場面はスーパーの陳列や自動販売機など、購入時点だけではありません。冷蔵庫の中、つまり家庭での使用時点でも問題があります。そばに人がいない時、自分だけで判断しにくいからです。ですから、売り場に配慮があれば済むというものでなく、商品そのものに識別の手がかりが求められているのです。

容器の不便さには、使い勝手の問題もあります。とくに、液体を一定量注ぐことは視覚障害者にとっては極めて苦手な作業で、なんらかの良い手段が待たれるところ。また、“開け口がわかりにくい” “開けにくい、重くて注ぎにくい” などの指摘は健常者にとっても必要な要件です。

II. 【紙パック容器についての不便さ】について

紙パック飲料に不便さを感じる理由として、使用時、購入時、収納時において、どの場面においても共通してあげられているのは、「中身がわからない」ことです。視覚障害者にとって、形や手触りが同じものは区別が付きません。特に紙パック飲料の場合、同容量で同形状のものが、牛乳、ジュース、ウーロン茶等、何種類もの内容物に使用されており、中身の区別が困難です。

「購入時」では、店内の同じ場所に並べられており、自分で触っただけでは中身がわからないため、店員や周囲の買い物客に聞いたり、あるいは購入を家族などに頼んだりしているようです。「使用時」では、冷蔵庫の中の同じ場所に、複数の紙パック飲料が収納されており、飲む時に区別がつかなくなってしまう場合が多いようです。なかでも「牛乳と他の飲料」を区別したいという人は7割を越えており、“せめて牛乳だけは識別できるようにして欲しい” という意見が多くの人から出されています。買った後に自分で工夫して収納してい

る人もみられますが、“識別表示がないので中身がわからない”との指摘もあります。牛乳の容器に何らかの識別マークを入れるなど、視覚障害者が自分自身で中身を判断するための包装容器への識別表示が望まれています。

「使用時」には、上記の理由の他に、「開けにくい」「開け口がわからない」「つぎにくい、こぼしやすい」といった紙パック容器の機能面に関して、多くの方が不便さを感じています。紙パック飲料の「開け口」については、例えば屋根型の紙パックの場合、開封箇所斜めに凹線が入っていますが、この凹線がはっきりわかりにくかったり、また、小容量の容器では“ストローを指す位置がわかりづらい”という人もいました。「開けにくい」という理由の中には、“開封の方法がわからない”という人もいますが、開封方法は知っていても、“とにかく開けづらい”“開けるのが難しい”と多くの方が感じているようです。「つぎにくい、こぼしやすい」という理由の中には、“コップにつぐ時にこぼしやすい”“大型になるほどつぎにくい”“一度に大量に出すぎてこぼしやすい”といった指摘がなされています。また、“一度封を開けてしまうとこぼれやすく、収納時に不便”という意見もありました。

また、購入時に「表示が見にくいので中身がわからない」という理由をあげているのは、弱視の方です。弱視の方は色や表示を見て判断しようとしても、よく見えず、不便だと感じているようです。容器の形状の工夫だけではなく、色づかいや表現等グラフィック上の配慮も必要だといえます。

Ⅲ.【紙パック容器の表示項目についてのまとめと考察】

パッケージに表示されている項目のなかで、必要とされている項目や注意されている項目は、商品の購入時、収納時、使用時ともに内容物の「種類」と「賞味期限」「製造年月日」でした。

そのため、「品物の中身」と「鮮度」「品質」に関する情報をわかりやすく伝えることが必要とされています。

Ⅳ.【その他のまとめと考察】

1.表示がわからないこと以外の不便な点

表示以外の不便な点では、「開けにくい」「注ぎにくい」「開け口がわからない」等の回答が上がり、その中でも開けにくさについての回答が約半数近くあります。そのため開封に関しての何らかの工夫が必要と思われます。

2.紙パック容器の識別に使っている部分

識別については、開封口の部分では屋根型の部分で識別、他には「容器の形」「容量」、「容器の色」、「注ぎ口」等色々な回答が上がっています。テレホンカードの切り欠き等にみられるような触覚での識別方法の検討が望まれます。

自由回答の生データ

容器に不便を感じる理由 (Q2)

1. 形や大きさが同じで区別しにくい
 - ・冷蔵庫でも同じ形のパックが並ぶと一つづつ開いて(口)臭いを嗅ぐこともしばしばある。
 - ・紙パック容器使用製品が多くなり、スーパーなどでは陳列されている品の区別がつけられない。
 - ・どれでも自分でスーパーなどに行って買おうとする時、種類の識別が困難であるから
 - ・どれも表示が見えないので不便です。
 - ・中身がわかりづらい点はどれも同じであるが、比較的ピンは形に特徴のあるものが多いと思います。
 - ・外からでは中身がわからないことは、全てに共通している。
 - ・ビールとジュースの区別がつかない。
 - ・形状や材質から判別が最もしにくいと感じる。
 - ・外形の大きさ以外に触覚で感じられる特徴が少ない。
 - ・形状による区別がつけにくい。
 - ・どれも形が同じで区別しにくい。
 - ・形、大きさがまったく同一で中身の区別がまったくできない。
 - ・中身がわからず、炭酸飲料をふって開けると、内容物が飛び散る。
 - ・中身がわからない。
 - ・形や手触りが同じで、中身がわからない。
 - ・他の飲み物と区別しにくく、大きさも同じだから。
 - ・区別しにくい。
 - ・中身の飲み物の色が、外からわからない。
2. 開け口がわからない。
 - ・開け口の方向がわからない。1/2の確率だが失敗する方が多い。
 - ・開け口がわかりにくい。
 - ・ふたを開ける時がこまる。口がわからなくなる。
 - ・開け口がわからない。
 - ・開け口が見つけにくい。
3. 種類が多いから
 - ・種類が多いから
 - ・他の容器に比べて商品数(種類)多いから
4. 自販機に何が並んでいるかわからないので。
 - ・自販機で買うことが多く、手に取って、近くで見ることができない。
 - ・自販機に何が並んでいるのかわからないので。選べないから。
5. 重くてつぎにくい
 - ・ペットボトルからコップなどに注ぐときペコペコして片手でつかまえにくい。中の液体が多い間は重くて片手で操作しにくい。
 - ・重くてカップに注ぎにくい。
 - ・重たいから
 - ・重たいからつぎにくい
 - ・つぎにくい。
 - ・1リットル入りの大きなパックは、注ぐときにたくさん出やすいのでこぼすことがある。どんなに傾いても一定量出るようであると良い。

6. 割れたら危険
 - ・捨てる所がわからない時、持ち歩くのに不便（重い）なので、割れるかもしれないから危ない。
 - ・割れた場合の後始末が大変。危険。
 - ・飲み終わった後も重い、危い。
7. 捨てるのに不便
 - ・捨てるのが不便。
 - ・捨てるのに不便。
 - ・ごみが増えるから。
8. 購入する頻度が高い。
 - ・牛乳パックを一番利用するので、牛乳パック。それ以外はほとんど同じ程度の不便さ。
 - ・購入する頻度が高い。
9. 開封しにくい
 - ・口があけにくく、開け方が悪かった時、次につかった人が飲みにくかったりする。
 - ・容器の開封がうまくできないことがある。
 - ・開封しにくい。
 - ・開きにくい。特に小さいパックはだめ（500ml以上のものなら良いが）
 - ・栓抜きが必要。
 - ・開けるときの面倒。
10. 不便を感じていない。
 - ・特に不便を感じたことがない。
 - ・あまり不便を感じない。缶は一種類で弁別しやすいし、紙パックは、牛乳のみ、ペットボトルは、ウーロン茶のみ。ジュースは飲まない。
 - ・飲み物を購入したり、ストックするのが牛乳程度。たまにペットボトルのウーロン茶くらい。
11. その他
 - ・缶をあけてしまうと、しまっておけない（なんとなく気分的ですが）ので。間違った缶を開けてしまった時は、欲しくない物でも飲むしかない感じがするからです。
 - ・牛乳の場合500ml, 1000mlなどは、何回かに分けて飲みますがふたがないので。
 - ・ピンの口が小さいので、全てにおいてわからない。
 - ・全部不便さを感じている。
 - ・倒した時にこぼれる。
 - ・ストローで中身を全部のむのが、むずかしく思います。特に、100CC程度の内容の物はストローを使用しますが、穴が見つけにくい。
 - ・大きすぎる。
 - ・おいがしない。

区別がつかなくて、困った事、不便さ (Q4)

1. 飲みたくないものを、買ってしまった (7件)

- ・ 間違っって冷たいのと暖かいのを押したり、飲みたくないのが出てきたりする。
- ・ 自分のほしい飲み物ではない物を買ってきてしまった。
- ・ 自分が思ったものと違う物を買ってしまった。
- ・ 自分の欲しいものとは違う種類のものを買ってしまった。
(ビールを買うつもりが炭酸飲料のジュースを買ってしまった)。
- ・ 同種の飲み物ではあるが自分の思うのとは違う商品名のものを買ってしまった。
(ゴールデンビターを買うつもりがパドワイザーを買ってしまった)。
- ・ 飲みたくない飲み物を買ってしまった。
- ・ 自分の買ったかったものが買えなかった。

2. 飲みたくないものを、開けてしまった (12件)

- ・ コーラが飲みたかったのに、開けたらビールだった。
- ・ 飲みたいと思ったものと違うものの、ふたを開けて期待はずれに腹がたつ。ホテルの冷蔵庫などで飲みたくないコーラなどを開けた時。
- ・ アルコール、炭酸類は嫌いなのでホテルや旅館の冷蔵庫を開けて困ってしまうことがある。
- ・ 飲もうと思った物と違う物を開けてしまい仕方なくそれを飲んだ。
- ・ 間違えて開けてしまった。
- ・ 開けてみたら自分が思っていた物と違っていた。
- ・ 不必要な物を開封してしまった。
- ・ ジュースが飲みたかったのにビールの缶を開けてしまった。私はビールが飲めないし近くに飲める人もいなかった。
- ・ 同じ容器ではできるだけ多種類おいておかないようにする。それでも思う物と違う缶を開けてしまったことがある。
- ・ 風邪をひいて鼻がきかなかった時に、牛乳とオレンジジュースを間違えてそいでしまった。
- ・ 家で冷蔵庫を開けて牛乳だと思って開けてみたらオレンジジュースだった。
- ・ 開けてしまっって大変困った。

3. 飲みたくないものを、飲んでしまった (10件)

- ・ そのまま飲んではずいスープの素や、調味料を飲んでしまった。
- ・ 飲みたいと思ったものが飲めなかった。
- ・ 希望している飲み物を飲めない、あるいは飲めなかった。
- ・ 中身がわからず嫌いなものも飲んでしまう。
- ・ 牛乳が飲みたいと思ったらジュースだったetc.
- ・ まちがえて飲んでしまった。(例: アップルジュースを飲もうとしてオレンジジュースを飲んでしまった)
- ・ 濃縮ジュースをそのまま飲んでしまう。
- ・ 紙パックのウーロン茶を牛乳とまちがえて飲んだ。
- ・ ジュースを飲もうと思って、間違っって牛乳を飲んでしまう。
- ・ 飲もうと思った物と違う物を開けてしまい、仕方なく飲んだ。

4.中身がわからない (11件)

- ・ あたためるか冷すか判断できなかった。
- ・ 子供の好むものと中身の区別がつかない。
- ・ 飲んでみなければわからない。
- ・ とにかく中身がわからないので困る。
- ・ 開けたくないものでも、開けないとわからなくなる。
- ・ 開けてみないと中身がわからない。
- ・ 開封して、におい、味をみないと中身がわからない。
- ・ ジュースの種類をいく通りか買うと、何のジュースだかわからない。
- ・ 製造年月日が気にかかったものの、中身の種類がわからないのでいっそう判断に困った。
- ・ どんな種類、どんな成分、どんな物かなど全てわかりません。
- ・ すぐに自分で表示をしなかったため、中身がわからなくなった。

5.間違えて買ってしまった (6件)

- ・ 買い間違える。
- ・ いつも牛乳が並べられている (と思っていた) 場所から買ってきただけがコーヒー牛乳だった。
- ・ 買い物のときにまちがえて買ってしまった。
- ・ 内容がわからず、間違えて買った。
- ・ 間違えて冷たいのと暖かいのを押したり、飲みたくないのが出てきたりする。
- ・ 違うものを買ってしまった。

6.間違えたことがある (6件)

- ・ 調味用の酒と牛乳とを間違えたことがある。
- ・ 牛乳とジュースをまちがえたことがある。
- ・ 缶入りのウーロン茶とコーヒーを間違えた。
- ・ コーヒーとそばつゆを間違えた。容器の形が同じな為。
- ・ 牛乳とジュースは紙パックで間違えたことがある。
- ・ 間違えて開けてしまった。

7.いちいち人に聞かなければならない (8件)

- ・ 一人ではわからず他人に種類をきかなくてはならない。
- ・ スーパーで買う時はいちいち周囲の人に聞いて確かめなければならない。
- ・ 一人ではほしい内容の物が見つけられない。
- ・ 買う時は必ず見てもらわなければならない。
- ・ 家族がいない時、飲めない。
- ・ ジュース売り場に行っても容器が自分で区別できないので店員に選んでもらうか、近くの買物客にとってもらわなければならない。
- ・ いちいち子供に聞かないとわからない。(未開封のとき)。
- ・ 買物に行き行って売っている場所はわかっても、買いたい物を一人で見つけることができなかった。

8.工夫しているので不自由はない (8件)

- ・ 牛乳なら紙パック、ジュースなら缶というように、区別しやすいように容器を変えて買っている。
- ・ 区別できるようにしるしをしたり、入れる場所を工夫する。
- ・ 同じ容器ではできるだけ種類おいておかないようにする。
- ・ 紙パック入り飲料の場合はあらかじめ容器に入れて確かめる事ができる。
- ・ 廻りに人がいることが多いので、人にきいているので、特に不自由はない。
- ・ また、置き場所を変えることで区別しているので区別の不便さは感じていない。
- ・ 両方共買いたてで牛乳を飲みたいと思ってあけたらジュースだったなんてことがあるが、どちらか聞いていれば問題はない。
- ・ 飲みものをあまり買わない (1種類)。缶は弁別しやすいし、紙パックは牛乳のみ、ペットボトルはウーロン茶のみ、ジュースは飲まない。以上の理由から困ったことはない。

9.缶入りは困る (4件)

- ・ 紙パックだと開けてもフタをしめて、又しまっておけるが、缶 (中身が炭酸だと特に) は開けてしまうとフタができないのが困る。
- ・ 缶飲料についてですが、以前は炭酸飲料はアルミ缶、お茶やコーヒーなどはスチール缶という意識でしたが、最近はどうもそうではないようです。お茶が嫌いな私にとっては困る事です。
- ・ 料理を作るとき、あわてて違う缶詰めを開けてしまうなんてことはよくあるが、飲みものでは特にない。
- ・ 缶入りは一度口を開けると保存がむずかしいので、希望のものでない場合もがまんすることがおおい。

Z.無回答 (6件)

紙パック容器の中で特に区別したいものがありますか？何と何を区別したいかと、その理由を教えてください。(Q6)

1、同じ場所に保存するので

- ・冷蔵庫に収納した後、わからなくなる。
- ・牛乳は常備、ジュース、コーヒー等を時々買って、冷蔵庫の同じ場所に保管しているため。
- ・保存場所が一緒で何本もあるとわかりにくい。牛乳は料理等にも使用するので、どうしてもジュースとの区別ができないと不便である。
- ・容器の大きさが同じものは、スペースの関係からほとんど同じ位置に置くことが多い。
- ・どちらも冷蔵庫に保存するものなので。
- ・冷蔵庫などに保管した時、目的のものを取り出しにくい。
- ・普通、牛乳とジュースを同じ場所に保存するから。
- ・置き場所を変えなければならない(牛乳とジュース)。
- ・常時、冷蔵庫の同じ場所に置いてあるため。

2、使用頻度が高いので

- ・よく買うので。
- ・牛乳が最も使用頻度が高いから。
- ・牛乳の使用頻度が高いので、すぐに区別がつくように。
- ・買う頻度が高いから。
- ・主に買うのは牛乳なので、他のものと牛乳だけ区別できればそれで十分。
- ・調理に牛乳を使用することが多い。

3、買い物に便利なので

- ・牛乳しか買わないが、数種まとめて買うときもあるので。
- ・飲みたくないジュースを買ってしまうと損をしてしまうので。
- ・いつも低脂肪乳を買うのだが、牛乳のある場所に行ってどれが低脂肪乳なのか探すのが大変だ。
- ・買うときに区別したいから、またそうすれば買った後も便利。
- ・まとめて買ったときに、例えばりんごジュースとオレンジジュースの区別ができないので。
- ・牛乳だけは識別できるようにして欲しい。
- ・別の日に買って区別しなくてはならない(牛乳とジュース)。

4、間違えて開けたり飲んだことがあるので

- ・生クリームを必要でないときに開けてしまうと処置に困る。
- ・牛乳は下痢するので飲めないから。
- ・間違えて生クリームを飲んでしまうのはつらい(ジュースやお茶なら間違っても何とか我慢できるが・・・)。
- ・水割りを作るときに間違えたことがある。
- ・同じ”ドール”でも味が異なると気分が損なわれる。
- ・好き嫌いがあるので、自分の嗜好に合わせたものを利用したい。

- ・天然果汁のジュースはどれも好きで一度に何種類も購入するが、飲みたいものを開ける前に識別できたら便利だから。

5、同じ形や色の容器が多いので

- ・同じ形状のパックが多いから。
- ・両方とも茶色に近い容器の色なので（コーヒーとカフェオレ）。
- ・同じ大きさのものを利用しているため（牛乳とお茶）。

6、すべての容器が区別できて欲しい

- ・牛乳以外はあまり飲まないが、すべてを区別できないと困る。
- ・すべてのものの区別ができるようになったらいいです。
- ・（すべてのものを）何であるかわかるようにして欲しい。

7、不都合を感じない

- ・紙パック飲料は2種類程度しか飲まないため、両者の大きさを変えて買っているのであまり不都合は無い。
- ・牛乳しか飲まない。
- ・牛乳しか飲まないのも、特に苦労はしていない。
- ・紙パック飲料はあまり買わないので、特にない。

Q 7 の選択理由 (Q 8)

* Q 7 : あなたの使用頻度の高い紙パックの容器の大きさは下記のいずれですか。上位 2 つまであげてください。

ア:100-300ml イ:500ml ウ:100ml エ:1300-1500ml オ:その他

1. 1 回で飲みきる量

- ・ 1 回 1 回、1 人ずつ飲むのに便利。
- ・ 1 回に飲みきれのサイズだから。
- ・ 一人で 1 回に飲みきることが多いから。
- ・ 1 回で使い切れる量だから。
- ・ ア = 100 ~ 300 ml 一度に飲むのにちょうどよい。
- ・ 1 回分の量。
- ・ ア = 100 ~ 300 ml 1 人 1 パック飲めるので。
- ・ ア = 100 ~ 300 ml 1 回の飲みきり量に適している。

2. 量、サイズが適当

- ・ 外で飲むのには、ちょうど良い量だから。
- ・ 飲む量が適当であるため。
- ・ 量が少ないから。
- ・ 量がちょうどよいから。
- ・ その量だけ飲めばよいから。
- ・ 1 回に好きな量が飲めるから。
- ・ ひとりで飲むのに丁度よい。
- ・ 飲み頃だから。
- ・ 手頃サイズ。
- ・ 軽いから。

2-1. 500ml の量が適当

- ・ イ = 500 ml 3 人家族なので、量が適当である。
- ・ イ = 500 ml は、狭い場所にも保管しやすいし、一度に消費しきれから
- ・ イ = 500 ml 使いきりやすい。
- ・ 一人で生活しているので、あまり大きいものは使わない。

2-2. 家庭用として適量

- ・ ウ = 1000 ml は、家族に適量と思うから。
- ・ 家庭用だから。
- ・ 牛乳、ジュースなど家族 4 人分として適量である。
- ・ 家族を併せると、使用期間内に使いきれ。

3. 1 日に飲む量

- ・ (ウ) は夏 1 日に飲む量。
- ・ (イ) は冬 1 日に飲む量。

4.種類が多い

- ・1000mlの種類が多いから。
- ・市販されている中で、最も多い。
- ・牛乳はほとんど1000mlだから。
- ・いつも買う店では、1000ml容器のものしか置いていない。

6.1000mlは、冷蔵庫へ収納上都合が良い

- ・冷蔵庫に収納上、都合が良い。
- ・ウ=1000ml 冷蔵庫におさまりがいい。
- ・ウ=1000ml 冷蔵庫のふたポケットにおさまりやすい。
- ・まとめて保存するのに便利。
- ・冷蔵庫の中にぴったり。
- ・ウは、冷蔵庫に常備。

7.量あたりの値段が安い

- ・家での保存も楽で、量あたりの値段が安いから。
- ・大きい方が安あがり。
- ・お買い得サイズ。
- ・割安だから。
- ・ウ=1000mlは、一度に多人数が利用でき、経済的。

9.みんなで飲む

- ・みんなで飲むから。
- ・複数人で飲む。

10.使用頻度が高いものは大きいもの

- ・牛乳、お茶などは、使用頻度が高いので大きいもの。
- ・牛乳はよく飲むので、大きいものを買うようにしている。

11.2タイプで使い分ける

- ・すぐ利用する大きさと、保存に都合のいい2タイプを使い分けている。
- ・私は、牛乳(1000mlパック)と豆乳(200mlパック)をよく使用するから
- ・アは、1回飲み切り、ウは冷蔵庫に常備。

12.度々買うのが面倒

- ・度々買うのが面倒だから。
- ・買いに行くのが面倒。

13.特売品で売られている

- ・特売品で売られていることが多い。
- ・よく特売しているから。

14. 一般的だから
 - ・ごく一般的だから。
 - ・何となく（一番普及しているかもしれませんが）
 - ・よく売っているから。
 - ・その単位で売っているものが多いから。

15. 1000mlがない時しかたなく
 - ・1000mlがない時しかたなく。
 - ・イ=500mlは、ウ=1000mlがない時や、この大きさしかない場合。

16. ジュース類は小さめのもの
 - ・ジュースなどは、飲む量により小さいものを買うことが多い。
 - ・ジュース類はたまに利用するため小さいもの。

17. 小さいパックは、すぐなくなる
 - ・小さいパックは、すぐなくなってしまう。
 - ・1～2日分あるので良い、小さいとすぐなくなる。

18. こぼれにくいから
 - ・こぼれにくいから。

19. 持ち運びに便利
 - ・持ち運びに便利。
 - ・あつかいやすいから。

20. 小さいパックは開けづらい
 - ・小さいパックは開けづらい。

21. 水はだいたいイの大きさだから
 - ・水はだいたいイの大きさだから。

22. 味のおいしいものがそのタイプだから
 - ・味のおいしいものがそのタイプだから。

23. 回数的にあう
 - ・回数的にあう。

24. 自販機で買うとそうなる
 - ・自販機で買うとそうなる。

25. その他
 - ・理由はない。
 - ・解答4に同じ。

Q9の選択理由 (Q10)

* Q9：紙パックに不便さを感じる時は、ア：購入時、イ：収納時、ウ：使用時のどの場面がもっとも多いですか。一つだけ選んでください。

1. 購入時に中身がわからない

- ・ 区別できないから。
- ・ 区別がつきにくいから。
- ・ 見分けがつかないから。
- ・ 銘柄がわからない。
- ・ 購入時が特に識別しにくいから。

1-2. 形や手触りが同じで中身がわからない

- ・ 同じ形をしていて区別がつきにくい。
- ・ 形が全部同じなので、わかりにくい。
- ・ 識別できない（形が皆同じなので）。
- ・ 形状による区別がつけにくい。
- ・ 形も同じで手触りも同じなため。
- ・ 大きさ、形、材質が同じで、店内でも同じ場所に並べられているから。

1-3. 表示が見にくいので中身がわからない

- ・ 中身が何なのか分かりにくい（表示が見にくい）。
- ・ その中身が何であるか、表示がよく見えないため。
- ・ 色の識別。

1-4. 誰か（店員等）に聞かないと中身がわからない

- ・ 人手を借りなければ買えないから。
- ・ 店員に聞く機会を失った時。
- ・ ジュース売り場に行っても容器が自分で区別できないので、店員さんに選んでもらうか、近くの買い物客に取ってもらわなければならない。
- ・ 買った後は自分で工夫して収納しておけるから。

2. 使用時に中身がわからない

- ・ 中身がわからないこと。
- ・ 使いたいものが分からないから。
- ・ 希望の物を取り分けられない。
- ・ すぐに区別がつかない。

2-2. 識別表示がないので中身がわからない

- ・ 表示がないからです。
- ・ しるしが無いから。
- ・ いちいち識別マークをつけて収納しないから。

2-3, 収納中に中身がわからなくなってしまう

- ・たとえ購入時にどちらが何なのかを教えてもらっても、いざ、しまう時に何かのはずみでごちゃごちゃになってしまう場合があります。
- ・同じ形、大きさで、同じ場所に並べてあるため、間違いやすい。
- ・冷蔵庫の中の位置が変わることがあるから。

3, 製造年月日、賞味期限がわからない

- ・製造月日がわからない。
- ・賞味期限がわからない。

4, 開け口がわからない

- ・開け口がわかりにくい。
- ・開け口がわからない。
- ・牛乳の開け口がいまいちわかりづらく開けづらい。
- ・開け口の矢印や点線が見にくいから。
- ・ストローをさすところがわからないので、うまくいかず、こぼしてしまうことが多い。

5, 開けにくい

- ・開けづらい。
- ・開けづらい。
- ・開封しにくい。
- ・注ぎ口が開けにくいものがある。
- ・開けるのが難しい。
- ・開け方が難しいから。
- ・開け口の方法がわからない。
- ・開けるのがめんどろ。

6, つぎにくい、こぼしやすい

- ・注ぎづらい、こぼれる。
- ・注ぐときに横もれしやすい。
- ・コップにつぐ時にこぼしやすい。

6-2, 大型になるほどつぎにくい

- ・大型になるほど、つぎにくい。

6-3, 一度に大量に出すぎるのでつぎにくい

- ・カップやグラスにつぐ時に一度に大量に出すぎる。
- ・1リットル入り等の大きなパックは注ぐ時にたくさん出やすいので、こぼすことがある。どんなに傾けても一定量が出るようであるとよい。

6-4, 封を開けてしまうとこぼれやすい

- ・封を開けてしまうとこぼれやすい。

7. 購入は誰か（家族等）に頼めるが、使用するの自分だから

- ・ 購入や収納は、家内の役、私は、飲む時専用。
- ・ まだ両親と同居しているため、購入するのはお願いできるが、使用するの自分だから。
- ・ 家族が買っておいたものを使うから。
- ・ 自分で買うことはほとんどない。
- ・ 購入、収納は、ほとんど自分ほしない。

7-2. 一人暮らしのため、使用時に自分で確認できない

- ・ 購入時には誰かに聞いて買うが、一人住まいのため、確認する方法がないとわからなくなってしまう。
- ・ 一人暮らしで見てもらおう人がいないから。

今後、表示してほしい項目 (Q14)

1. 栄養表示

- ・ 栄養素の表示
- ・ カロリー量表示 (塩分、糖分)

2. 値段

3. 残量の分かる目盛り

4. 表示の点字化

5. 製造業者の連絡先

6. 殺菌方法

7. 色々な使い道

8. 内容物の変質を知る手掛かり

- ・ 味、臭い、色などどの様な状態になると飲料として不適當か

9. その他

- ・ 読んでもらっていないのでわからない
- ・ 何が書かれているか知らないし、中身が分かれば良いと思っている

紙パック容器の表示が、わからないこと以外の不便な点 (Q15)

1. 開け口がわからない
 - ・開け口がわからない
 - ・封を切る側が分かりにくい
 - ・開け方の不明確な物がある
2. 開けにくい
 - ・注ぎ口が開けにくい
 - ・きれいに開かない物がある
 - ・開け方が悪かった時、次に使ったり、飲みにくかったりする
 - ・はさみで切らなければならない
 - ・開けるのが不便
 - ・開け方がわかりにくい
 - ・開け方が面倒
 - ・はさみで切るタイプの牛乳パックは開けにくい
3. 注ぎにくい
 - ・注ぎにくい
 - ・柔らかくて注ぎにくい物がある
 - ・コップ等へつぐ時に注ぎにくい
 - ・プラスチックの注ぎ口が付いている物はかえって注ぎにくい
 - ・形がつぶれやすい
4. 扱いにくい
 - ・持ち運びに不便
 - ・持つ時
 - ・容器の側面を持つと中身が飛び出してしまう
5. 蓋がない
 - ・何回かに分けて使う場合に蓋が欲しい
 - ・蓋が無いのでこぼし易い
6. 出る量が不安定
 - ・カップにつぐ時に大量に出してしまう
 - ・どばっと出してしまう
7. 容器の形が同じで判別しにくい
 - ・種類によって分かりやすくして欲しい(例えば牛乳とジュース)
 - ・形が同じで判別しにくい
 - ・メーカーも統一して欲しい

8. ストローで飲みにくい

- ・引き伸ばし式のストローが短い
- ・ストローを差し込む所
- ・ストローを入れる場所を開けて入れる時にこぼしやすいので少し出っ張りを付けた方が良い

9. 機密性がない

- ・1回開けると蓋が出来ない(密封出来ない)
- ・開封後の機密性が悪い

10. その他

- ・直接飲んだり、コップに注ぐ時横にこぼれる可能性がある
- ・紙パックは保存のさい垂れてしまう
- ・四角より円筒形の方が良いので握りやすい
- ・開けると横に入れられない

使いづらいために、紙バック容器を買わない方は、その理由（Q16）
*回答は3件のみのため、特に分析は行なわなかった。

1. 扱いづらい
2. 牛乳は買いますが、その他の物は紙臭い
3. 紙は軽いので良く利用する

紙パック容器の識別に使っている部分 (Q17)

1. 開封口

- ・例に同じ(パックの開封口方向を、パックの屋根型のところに入っている斜めのヘコ線で区別している)
- ・溝で区別
- ・開封口の識別
- ・開封口が屋根型にすじ入りなので
- ・開け口のヘコ線
- ・屋根型部分の斜めの線
- ・開封方向の斜めのヘコ線
- ・パックの屋根の上の刻印
- ・紙パックの糊代の反対側に付いている合わせ目(プレス)の跡

2. 容量で区別

- ・容器の大きさで種類・量を区別
- ・内容量の異なる物を買う

3. 形で区別

- ・100～200mlではケースの形で区別
- ・容器の形で種類・量を区別
- ・パックの形で品名を区別

4. 容器の色

- ・白は牛乳、茶色はコーヒー等
- ・同じメーカーのパックを買って、容器の色のハッキリしている物を使っている
牛乳は青のパック、お茶は白等

5. 注ぎ口

- ・注ぎ口のある物(プラスチック)と無い物で牛乳とジュースを区別(あまり有効ではないージュースで注ぎ口の付いていない物が沢山ある)
- ・醤油パックには、注ぎ口を取り付けている

6. その他

- ・輪ゴムの本数で区別
- ・ストローの差し込み口がへこんでいる
- ・ヤクルトミルミルは蓋がシールになっている
- ・開ける方向とかがもう少しわかり易いと良い
- ・紙パック自身での区別はしていない
- ・パック表面の触覚

「飲み物容器に関する不便さ調査」 ご協力のお願い

私たちE&Cプロジェクト（共用デザインを考える会）の「パッケージ識別班」では、現在目の不自由な方たちの身のまわりにある色々な飲み物の容器について、どのような不便さを感じているか調査を行ない、問題の解決に役立つ情報を集めることにいたしました。みなさまが普段お感じになっていることを、なるべく多くお書きくだされば幸いです。

お忙しいところ誠にご面倒でしょうが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

尚、この調査結果は目的以外に決して使用せず、個人のプライバシーは厳守いたします。

平成6年10月吉日

E&Cプロジェクト パッケージ識別班

このアンケートに関するお問い合わせは、日本点字図書館 用具事業部内 杉山まで
(TEL 03-3209-0751：午前9時～午後5時まで)

<回答上の注意点>

- (1) 回答は墨字、点字どちらでも結構です。同封の用紙をご利用ください。
尚、墨字の場合は専用の回答用紙を、点字の場合は、点字用紙をご利用ください。
- (2) 点字で回答される方は、3マス目から書きはじめ、問題毎に改行してください。
- (3) 自由回答と選択回答があります。
- (4) 自由回答は、言葉で出来るだけ詳しく記入してください。質問の最後に（自）と書いてあります。
- (5) 選択回答は、記号のみ記入してください。

それでは、以下の質問にお答えください。

1. 牛乳、ジュースなどの飲み物は、紙パック、缶、ビンなどの容器に入っています。
あなたがもっとも不便を感じる容器は、下記の容器のなかのどれですか？ 一つだけ選んでください。（記号で）
ア. 紙パック イ. 缶 ウ. ペットボトル エ. ビン オ. その他
2. それはなぜですか？その理由を教えてください。（自）
3. 次にあげる容器を、識別しにくく不便を感じる順に並びかえてください。
ア. 紙パック イ. 缶 ウ. ペットボトル エ. ビン

4. 牛乳、ジュースなどの飲み物の容器は、同じ形で中身が異なるので識別するのはむずかしいと思いますが、区別がつかなかったために、あなたにとってどんな不便さや、困った事がありますか？ (自) いくつでも

食品の容器には紙パック、ビン、ペットボトル、缶などがありますが、その中で紙パック飲料についてお聞きいたします。

5. あなたが普段よく購入される紙パック飲料はどのようなものですか？下記の中から選んで下さい。上位3つまであげてください。(記号で)

ア：牛乳 イ：加工乳（特濃、濃厚、低脂肪乳など） ウ：乳飲料（カフェオーレ、いちごオーレ、フルーツオーレ、コーヒー牛乳など） エ：お茶類（ウーロン茶、紅茶、緑茶、麦茶等） オ：ジュース（天然果汁、果汁飲料、野菜ジュースなど）
カ：乳酸菌飲料（森永コーラス、マミー、カルピスなど） キ：はっごう乳（のむヨーグルトなど） ク：コーヒー ケ：豆乳 コ：生クリーム サ：水（ミネラルウォーター、おいしい水など） シ：その他

6. 紙パック飲料の中で特に区別したいものがありますか？何と何を区別したいか教えてください。また、その理由も教えてください。(自) いくつでも
(例 牛乳とジュース：牛乳の使用頻度が高く、ジュースと同じ場所に保存している。)

7. あなたの使用頻度の高い紙パックの容器の大きさは下記のいずれですか。上位2つまであげてください。(記号で)

ア：100-300ml イ：500ml ウ：1000ml エ：1300-1500ml オ：その他

8. それはなぜですか？それぞれ理由を教えてください。(自)

9. 紙パック飲料に不便さを感じる時は、ア：購入時 イ：収納時 ウ：使用時のどの場面がもっとも多いですか。一つだけ、選んでください。(記号で)

10. それはなぜですか？その理由を教えてください。(自)

11. 容器に書かれている項目のなかで、あなたが商品購入時に特に必要な項目、注意している項目は下記のどれですか？上位3つまであげてください。(記号で)

ア：種類（例：牛乳、ジュース、お茶類など） イ：品名（商品名） ウ：原材料名
エ：内容量 オ：製造年月日 カ：賞味期限 キ：保存方法 ク：使用上の注意
ケ：原産国名 コ：製造業者 サ：使用方法 シ：保存温度

12. 容器に書かれている項目のなかで、あなたが商品収納時に（冷蔵庫、棚など）、特に必要な項目、注意している項目は下記のどれですか？上位3つまであげてください。(記号で)

ア：種類（例：牛乳、ジュース、お茶類など） イ：品名（商品名） ウ：原材料名
エ：内容量 オ：製造年月日 カ：賞味期限 キ：保存方法 ク：使用上の注意
ケ：原産国名 コ：製造業者 サ：使用方法 シ：保存温度

13. 容器に書かれている項目のなかで、あなたが商品使用時に特に必要な項目、注意している項目は下記のどれですか？ 上位3つまであげてください。（記号で）
ア：種類（例：牛乳、ジュース、お茶類など） イ：品名（商品名） ウ：原材料名
エ：内容量 オ：製造年月日 カ：賞味期限 キ：保存方法 ク：使用上の注意
ケ：原産国名 コ：製造業者 サ：使用方法 シ：保存温度

14. 現在表示されていない項目で、記入してほしい項目はありますか？（自）

15. 紙パック容器について、表示がわからない事以外に不便な点があったら、あげてください。（自）

16. 使いづらいために、紙パック容器を買わない方は、その理由を教えてください。（自）（紙パック飲料を買わない方のみ記入してください。）

17. 紙パック容器で、現在あなたが何かの識別に使っている部分がありましたら、教えてください。（自）
（例：パックの開封口方向を、パックの屋根型のところに入っている斜の凹線で区別している。）

●最後にあなたご自身についてお答えください。

18. 氏名

19. 年齢

20. 性別

21. 住所

22. 視力の程度 ア：先天盲 イ：後天盲 ウ：弱視（見え方の程度も教えて下さい）
エ：その他（自）

23. 障害程度等級は何級ですか？（障害者の方で、もしさしさわり無ければ教えて下さい。）

24. 点字を読むことは、できますか？
ア：苦勞なく読める イ：どうにか読める ウ：まったく読めない
エ：その他（自）

アンケートは以上です。どうもご協力ありがとうございました。回答用紙は、同封の封筒でご返送ください。なお、勝手ながら、11月20日までにご返送願います。

視覚障害者の見え方の程度

法的には、身体障害者手帳に該当する視覚障害は1級～6級に分けられています。そのうち、1級と2級が重度視覚障害者ですが、2級は視力0.02から0.04までなので、日常生活においてはかなり有利です。0.04の視力があれば、テレビ式拡大読書器などを使用して普通文字を読み書きすることができますし、近くにくれば障害物も判別できます。それが、日常生活においていかに有利であるかは言うまでもないことです。

それに対し、1級は不便さがぐんと増します。ところが、その1級にもさまざまな視力があり、それによって不便さはかなり違います。したがって、一概に盲人と言っても、残存視力の程度によって不便さが異なりますので、その人の不便さを判断する場合には十分に注意する必要があります。

視力表で計ることができない視力の分類について、以下に簡単にふれてみましょう。

1. 全盲 言うまでもなく、周りが明るい暗いかを判別できないものです。
2. 光覚 暗室で、豆電球の光が判別できる視力です。部屋の電灯がついているかいないか、窓が閉まっているかいないかがわかるなど、日常生活においては、光覚があるだけでもずいぶん有利になります。夜道で、街灯や家の窓の明かりを目印にすることができますし、天井の電灯を目印に、廊下を真っすぐ歩くこともできます。
3. 手動弁 眼前で手を左右に振ると、その動きが判別できる視力を言います。ごく近くにならないとわかりませんが、動いている物体がわかるのは、行動にとってたいへん有利です。
4. 指数弁 同じく眼前で指の数が数えられる視力です。その距離によって、20センチ指数とか、30センチ指数という言い方をします。この段階になると、行動面での危険性はかなり減少します。行動面だけ見ていると、それほど視力が悪いとは思えない動きをすることがよくあります。50センチ離れた所で判別できれば、視力0.01ということになります。
5. 視野の欠損 視力とはあまり関係なく、視野が欠けている人がいます。緑内障では、症状によって視野のあちこちが欠けますし、盲膜色素変性症の典型的なものは、周辺の視野が欠けるトンネル・ビジョンとなります。また、黄斑部変性症などは視野の中央部が欠損します。こうした視野の欠損は、見えているようで見えていない場合がよくあり、その人の視野の状況を正しく理解しておく必要があります。トンネル・ビジョンでは、明るい所では全く異状を感じなかったのに、暗い場所に入ったとたん、全盲と変わらない行動しかできなくなることがあります。介護しているときには注意しなければならない点です。
6. 色盲、色弱 視力や視野の障害のほかに、色の識別が困難な人がいます。色盲は視力と関係ありませんが、色弱は視力の弱い人によく見られます。中間色の識別が難しいと訴える人が多く、色の違いで判断させるような指示はやはり避けるべきでしょう。

飲み物容器に関する不便さ調査

視覚障害者アンケート調査報告書

平成7年 4月発行

発行 E & Cプロジェクト
〒101 東京都千代田区猿樂町2-5-4
OGAビル 8F
電話 03-5280-0020
FAX 03-5280-2373
制作 E & Cプロジェクト
パッケージ識別班